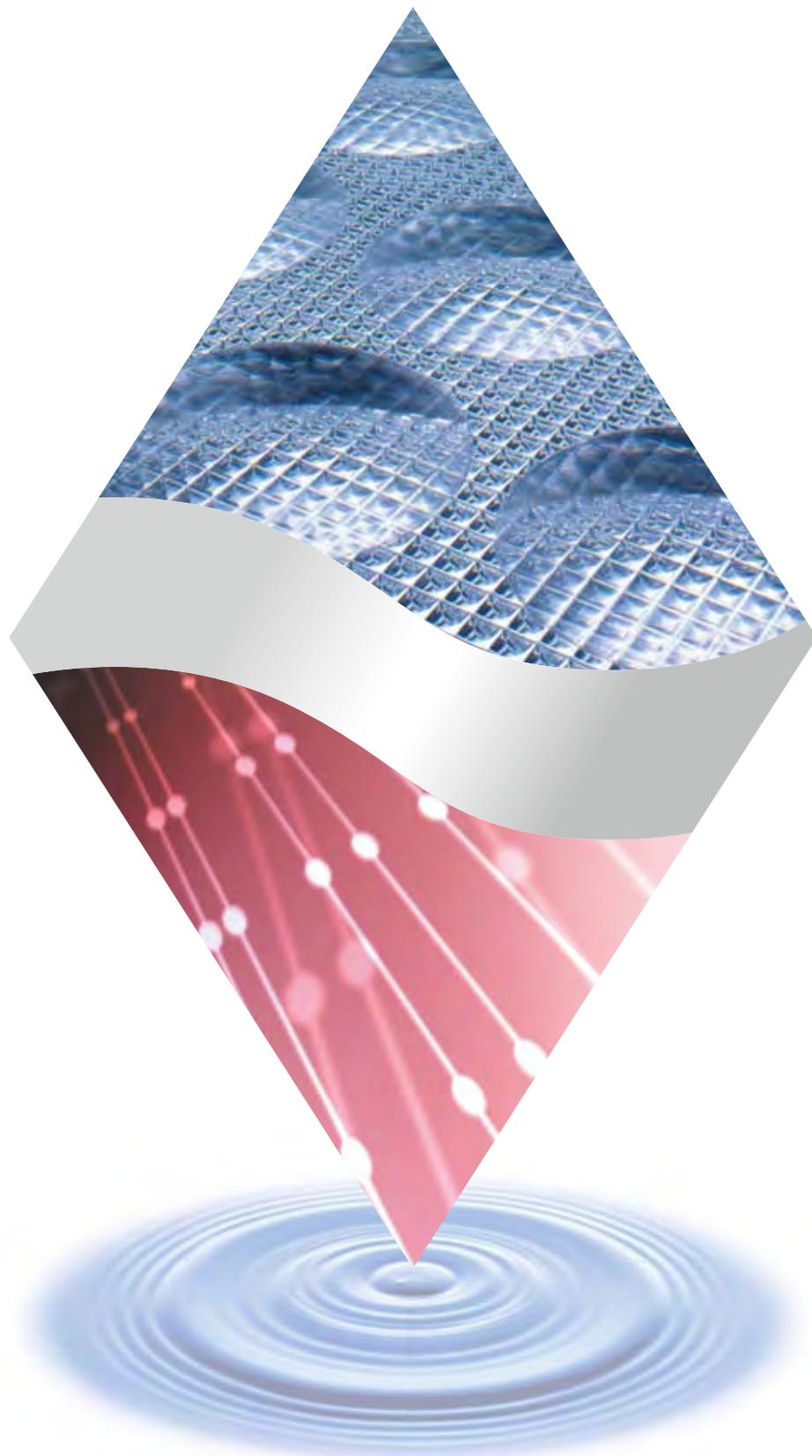


平成21年度 学校要覧



教育理念

創意・創造

自主・自律

共存・共生



上記の新しい校章は、学生・学校・地域の3者が互いに手を取り合っている様子を表現し、協力・交流・持続的社会といったメッセージがこめられています。組み合わさって表現される形は、アルファベットのTをイメージ。これは、Think(考える)、True(真実)、Thank(感謝)の3つの英単語の頭文字であると同時に、これらを包み込む母体であるToyama(富山)のTをあらわしています。



本郷キャンパス



射水キャンパス

富山高等専門学校 校歌

われら未来へ

片岡 輝 詩
池辺晋一郎 曲

白銀の峰を仰ぎ

胸一杯に大地の息吹を吸いこむ

両腕を翼に空に羽ばたけば

母なる地球が丸い

自在に思いを巡らし

自由に夢を形にする

この学舎でともに手を取り

藍色の海のかなた

波のしぶきに未知なる世界を目指す

嵐に耐えて針路を守れば

暁を星影が招く

自ら省みて行い

自らに恥じなく生きる

この青春をともに悔いなく

遙かなる未来見つめ

広く世界と語らい平和をうたう

真理を極め技を磨けば

吹く風に春の花が香る

たしかなあしどりで進もう

学舎の誇りを胸に

この時代をともに支えて

目次 Contents

1 学校紹介	1
2 組織	6
3 学科紹介	8
4 専攻科紹介	23
5 地域人材開発本部	28
6 主要施設	29
7 学校生活	31
8 地域社会との連携	36
9 研究活動	38
10 国際交流活動	39
11 財務状況	41
12 現行学科・専攻科紹介	45

1 学校紹介

■ 校長あいさつ



校長 米田 政明

富山高等専門学校は、平成21年10月に富山工業高等専門学校と富山商船高等専門学校の統合・高度化再編によって誕生した新しい国立高専です。工学系4学科（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科）、人文社会系1学科（国際ビジネス学科）、商船系1学科（商船学科）の合計6学科から成り、多様な教育研究分野を有していることが大きな特徴です。

富山高等専門学校は、工業高専（本郷キャンパス）と商船高専（射水キャンパス）、両校の歴史と伝統の上に立って持てる力を結集し、分野間の連携とキャンパス間の距離を超えた融合を図って、新しい歴史を切り拓いていきます。そして、「創意・創造」、「自主・自律」、「共存・共生」を教育理念に掲げ、環日本海地域の持続的社會を担う人材を育成し、教育研究を通して地域社会に貢献します。

富山高等専門学校は、実験・実習や演習を多く取り入れたきめ細かい教育指導により、工学系4学科にあっては産業界のニーズに適合した複合分野の基礎技術を有する技術者を育成し、国際ビジネス学科にあっては、国際的に活躍し、地域社会及び地域産業に貢献できるビジネスパーソンを育成し、そして商船学科にあっては、我が国の海運界を担う船舶職員として社会的ニーズに対応できる実践的な知識と技術を有する人材を育成します。

富山高等専門学校は、(1) 教育研究内容を高度化し、(2) 専攻科を充実し、そして(3) 地域連携機能を強化していきます。(1) 教育研究内容の高度化につきましては、各学科に教員を厚く配置して上記のような人材育成に努めます。(2) 専攻科の充実につきましては、新たに国際ビジネス学専攻を立ち上げ、既存の専攻と合わせて、本科のすべての学生に専攻科進学の道を拓きました。また、工学系の専攻につきましては、引き続きJABEE（日本技術者教育認定機構）から教育プログラムが国際水準にあることの認定を受けています。さらに、(3) 地域連携機能の強化につきましては、新たに地域人材開発本部を設置し、傘下に地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際教育センターを置き、専任教員を配置して、地域産業界との共同研究並びに共同教育、国際交流を通しての地域社会への貢献に務めます。

富山の新しい国立高専「富山高等専門学校」を紹介させていただきました。富山高等専門学校は、地域に根ざした、地域から愛される高専を目指して、教職員一同、一丸となって努力する所存ですので、関係各位の一層のご理解並びにご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

■ 本校の教育方針

1 「専門知識・技術を有し、将来、研究開発やビジネスをリードする能力を有した人材の育成」

高等専門学校は「実践的・専門的な知識・技術を有する創造的な人材の育成」です。この目的に沿って、学生の一人ひとりの希望と社会のニーズに適合した人材、特に地域産業界において研究開発やビジネスをリードできる人材の育成に努めます。

2 「自ら考え、主張し、行動する主体性を有した人材の育成」

社会で専門知識・技術を活かすには、自分の考えを人に伝え、周囲の協力を得ながら行動することが重要です。そのためまず自分の頭で考えることのできる創意工夫の態度を持った人材、さらに主体性を持って行動することのできる人材の育成に努めます。

3 「豊かな教養と倫理観を有し、他者や地球との共生の精神を有した人材の育成」

研究開発やビジネスをリードするには、技術やビジネスが社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、技術者やビジネスパーソンが社会に負っている責任について認識することが重要です。そのため、技術者倫理を尊重し、また自然や地球との共生の精神を持った人材の育成に努めます。

■ 学科入学者受入方針

本校では、環日本海地域を中心とした地球的な視点に立ち、充実した教養教育や実践的な専門教育により、学生一人ひとりの個性を尊重し、専門知識・技術を身につけ、その能力を育成することを目指しています。

このような方針に基づき、各学科では人・社会・自然・環境に思いやりのある、次のような学生を求めます。

機械システム工学科

- 1 機械・構造物、機械システムに興味がある人
- 2 創造力豊かな機械技術者になりたい人
- 3 エネルギーからリサイクルまでのシステムを創造し、社会に貢献したい人

電気制御システム工学科

- 1 電子工作や機械工作などのものづくりに興味がある人
- 2 ロボット技術のように電気、機械、情報技術を融合した知識を身につけたい人
- 3 創意工夫により新しい技術を作り出し、社会に貢献したい人

物質化学工学科

- 1 化学の世界に興味を持っている人
- 2 地球と人にやさしいものづくりをしたい人
- 3 持続的社会的構築に貢献したい人

電子情報工学科

- 1 ものづくりが好きでコンピュータに興味がある人
- 2 情報、電子、通信の総合技術を身につけたい人
- 3 自ら考えて行動できるエンジニアになって、社会に貢献したい人

国際ビジネス学科

- 1 外国語や異文化に興味がある人
- 2 ビジネス分野の知識を身につけたい人
- 3 国際的な視野をもって社会で活躍したい人

商船学科

- 1 海や自然が好きな人
- 2 大型船の船長や機関長をめざす人
- 3 大きな機械のエンジニアをめざす人
- 4 世界中の国々で活躍したい人

■専攻科入学者受入方針

本校専攻科では、幅広い豊かな教養と高度な専門知識を有する人材の育成を目指しています。このような方針に基づき、専攻科では次のような学生を求めます。

- 1 専門の基礎学力をさらに深め、実践力と複眼的な視野を有するデザイン能力を身に付けたい人
- 2 研究・開発能力を身につけたいと考え、自主的、継続的に努力できる人
- 3 社会人としての倫理を尊重し、グローバルな視野を有する専門家として貢献したい人

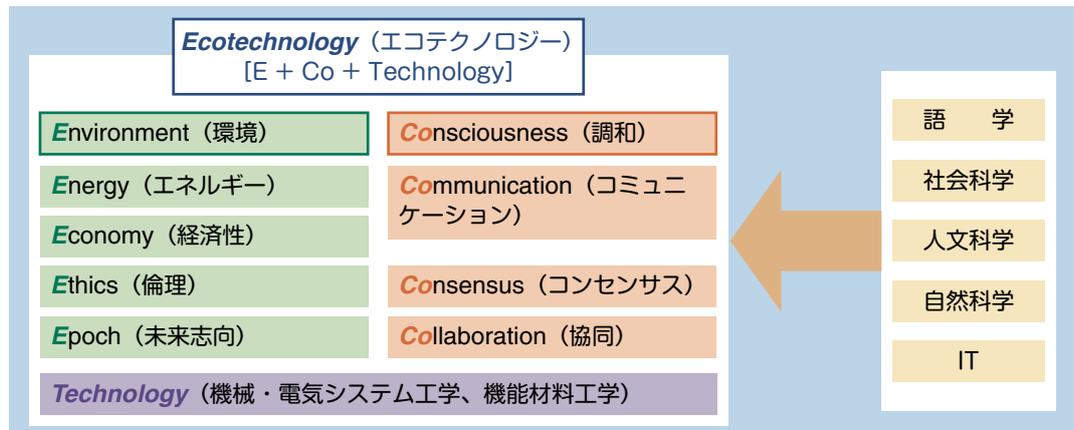
■JABEE対応教育プログラム

本校専攻科の「エコデザイン工学専攻」及び「制御情報システム工学専攻」では、日本技術者教育認定機構（JABEE）が認める以下の技術者教育プログラムを設定しています。

それぞれの専攻に入学した学生は各教育プログラムの履修者となります。そのため学科の一部の科目を修得することが必要となる場合があります。各プログラムの内容及び学位取得を含む修了要件等、詳しくはそれぞれのキャンパスのホームページでも紹介しています。

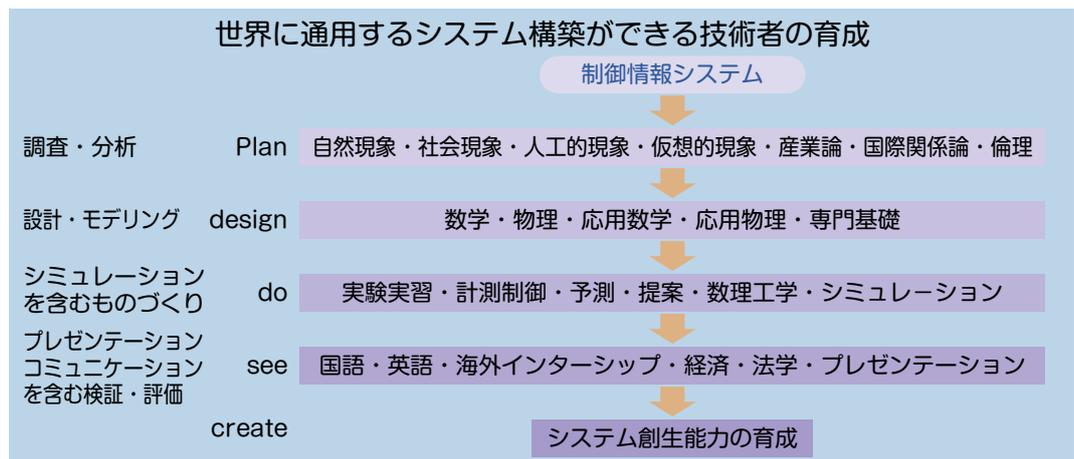
エコデザイン工学プログラム

エコデザイン工学専攻では、本郷キャンパス機械工学科、電気工学科、物質工学科、環境材料工学科4学科の4、5年と専攻科エコデザイン工学専攻を複合した「エコデザイン工学」教育プログラムを設定しています。



制御情報システム工学プログラム

制御情報システム工学専攻では、射水キャンパス電子制御工学科・情報工学科4、5年生（一部3年生履修科目を含む）からの一貫した「制御情報システム工学」教育プログラムを設定しています。



■教育システムに関する外部（第三者）評価

1 大学評価・学位授与機構による認証評価

高等専門学校は、教育研究等の状況について、一定期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価（認証評価）を受けることが義務付けられています。

富山商船高等専門学校では平成17年度に、また、富山工業高等専門学校では平成19年度に高等専門学校機関別認証評価を受審し、高等専門学校評価基準を満たしていることの認定を受けています。

認証評価は、

1. 大学評価・学位授与機構が定める高等専門学校評価基準に基づいて、高等専門学校を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保証すること。
2. 評価結果を各高等専門学校にフィードバックすることにより、各高等専門学校の教育研究活動等の改善に役立てること。
3. 高等専門学校の教育研究活動等の状況を明らかにし、それを社会に示すことにより、公共的な機関として高等専門学校が設置・運営されることについて、広く国民の理解と支持が得られるよう支援・促進していくこと。

を目的として実施されており、本校の教育研究活動等の状況を社会に積極的に提供するため、評価報告書（評価結果）及び自己評価書がホームページ上で公表されています。

2 大学評価・学位授与機構による専攻科に関する審査

本校は現行7学科に対応する4専攻からなる専攻科を設置しています。専攻科教育システムについては、5年間に一度、大学評価・学位授与機構による審査を受けるものとなっています。現在設置されている専攻科のうち富山工業高等専門学校の専攻科は平成5年度に設置され、これまで2回受審し、認められています。富山商船高等専門学校に設置の専攻科は平成17年度設置のため、未だ受審していません。

新たな専攻科構成となる富山高等専門学校についても、適切な時期に受審する予定です。

3 日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査

準学士課程4、5年と専攻科を合わせた教育プログラムの、日本技術者教育認定機構（JABEE）による認定審査について、富山工業高等専門学校では平成16年度に受審し、「エコデザイン工学プログラム」について認定を受けています。富山商船高等専門学校では平成20年度に工学系の電子制御工学科、情報工学科及び専攻科の制御情報システム工学専攻で「制御情報システム工学プログラム」を受審し、認定を受けています。

富山高等専門学校では学科と専攻科の構成に適切に対応した新しい「工学プログラム」について検討しています。新学科から初めての卒業生を送り出すことになる5年後を目途として、新プログラムについて日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受ける予定です。

4 商船学科のSTCW教育機関としての認定審査

商船学科の教育プログラムは卒業時に海技士資格（国際標準）認定を与えるものとなっており、教育プログラムについては、5年間に一度、国土交通省による審査を受けています。国土交通省が、商船学科の教育プログラムがSTCW（Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers）条約を満たしていることを審査・認定し、IMO（国際海事機関）に報告し、海事教育機関として公式に登録されています。

富山高等専門学校の商船学科においても、STCW教育機関としての認定審査を受ける予定です。

■ 本校の沿革

旧 富山工業高等専門学校

- 昭和39年 4月 富山工業高等専門学校設置（機械工学科、電気工学科、工業化学科）
- 昭和44年 4月 金属工学科設置
- 平成元年 4月 工業化学科を物質工学科に改組
- 平成5年 4月 専攻科設置（機械・電気システム工学専攻、機能材料工学専攻）
- 平成6年10月 富山工業高等専門学校創立30周年記念エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム－富山'94開催
- 平成7年 4月 金属工学科を環境材料工学科に改組
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 5月 JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定（「エコデザイン工学」プログラム）
- 平成19年10月 第14回エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウムを大韓民国 慶熙大学校において開催（主催：国立高等専門学校校機構 主管：富山工業高等専門学校）
- 平成19年11月 財団法人地球環境戦略研究機関－持続性センターによるエコアクション21 認証・登録
- 平成20年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定

旧 富山商船高等専門学校

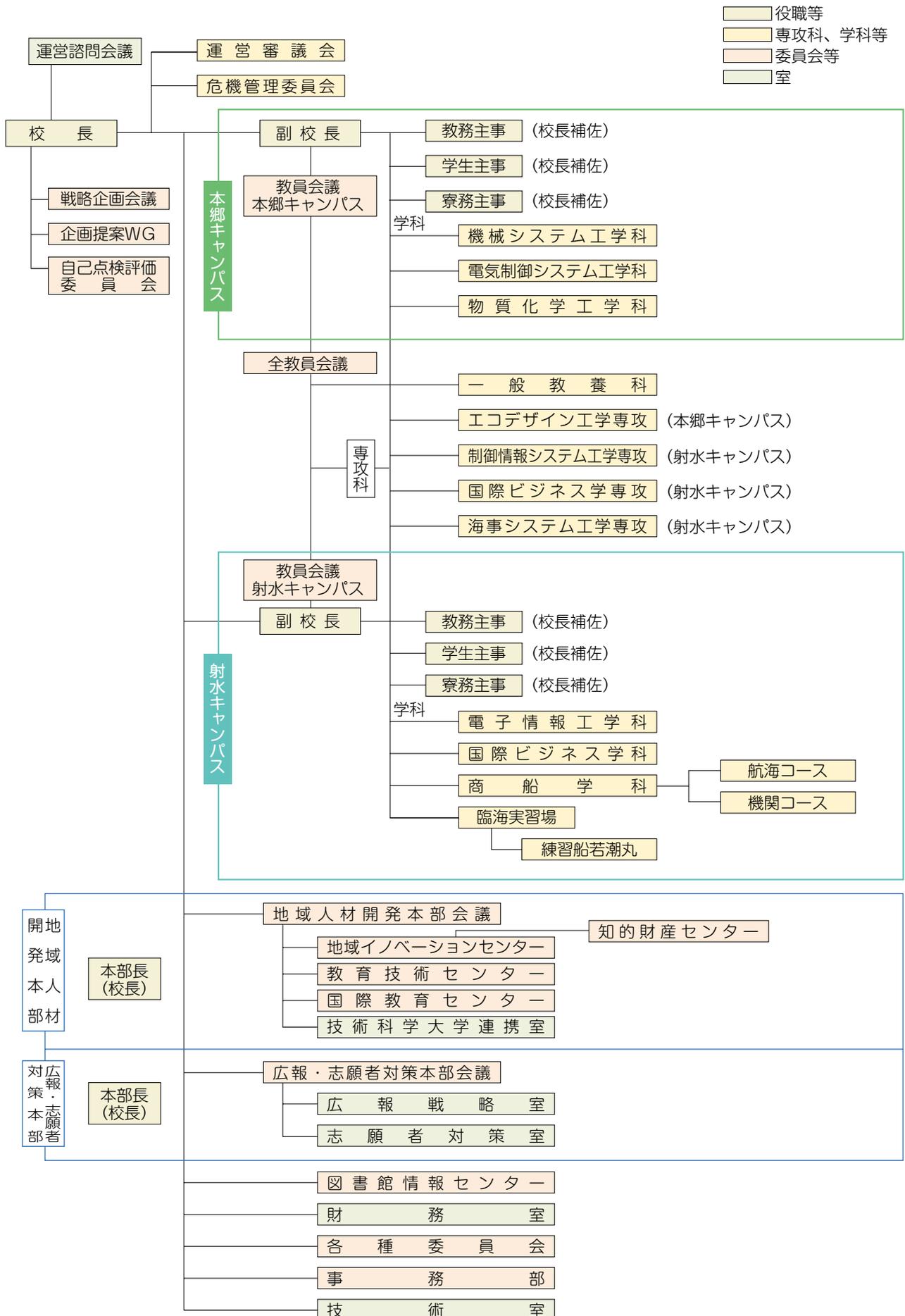
- 明治39年 7月 新湊町立新湊甲種商船学校創立
- 明治42年 4月 富山県へ移管、富山県立商船学校となる
- 昭和14年 8月 文部省へ移管、富山商船学校となる
- 昭和17年 1月 逓信省所管となる
- 昭和18年11月 運輸通信省所管となる
- 昭和20年 5月 運輸省所管となる
- 昭和26年 4月 文部省へ移管、富山商船高等学校となる
- 昭和42年 6月 富山商船高等専門学校となる（航海学科、機関学科）
- 昭和44年 4月 現在地（新湊市海老江練合）に移転航海学科1学級増
- 昭和60年 4月 航海学科2学級を1学級に改組及び情報工学科を設置
- 昭和63年 4月 航海学科及び機関学科を商船学科（航海コース、機関コース）に改組及び電子制御工学科を設置
- 平成8年 4月 国際流通学科設置
- 平成16年 4月 独立行政法人移行（独立行政法人国立高等専門学校機構設置）
- 平成17年 4月 専攻科設置（海事システム工学専攻、制御情報システム工学専攻）
- 平成18年 3月 独立行政法人大学評価・学位授与機構による高等専門学校機関別認証評価の認定
- 平成18年10月 創立100周年記念式典を挙行
- 平成21年 4月 JABEE(日本技術者教育認定機構)の認定（「制御情報システム工学」プログラム）

富山高等専門学校

- 平成21年10月 富山高等専門学校設置（機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、国際ビジネス学科、商船学科及び専攻科）
- 平成22年 4月 新学科生、専攻科生受入予定

2 組織

組織図



■ 役職者名簿

校長 米田 政明

■ 本郷キャンパス

副校長 丁子 哲治
 教務主事（校長補佐） 米谷 正
 学生主事（校長補佐） 秋元 誠
 寮務主事（校長補佐） 立野 彰
 機械システム工学科長 寺西 恒宣
 電気制御システム工学科長 西田 均
 物質化学工学科長 川淵 浩之

■ 射水キャンパス

副校長 成瀬 喜則
 教務主事（校長補佐） 遠藤 真
 学生主事（校長補佐） 新開 純子
 寮務主事（校長補佐） 北川 俊昭
 電子情報工学科長 水本 巖
 国際ビジネス学科長 長谷川 博
 商船学科長 見上 博
 航海コース主任 中谷 俊彦
 機関コース主任 見上 博
 臨海実習場長 中谷 俊彦
 練習船若潮丸船長 笹谷 敬二

■ 専攻科

専攻科長 遠藤 真
 副専攻科長（本郷キャンパス） 安田 賢生
 副専攻科長（射水キャンパス） 宮林 穎夫

■ 一般教養科

一般教養科長 松井紳一郎
 本郷キャンパス主任 松井紳一郎
 射水キャンパス主任 金川 欣二

■ 地域人材開発本部

地域人材開発本部長 米田 政明
 地域イノベーションセンター長 丁子 哲治
 知的財産センター長 塚田 章
 教育技術センター長 本江 哲行
 国際教育センター長 成瀬 喜則
 技術科学大学連携室長 塚田 章

■ 広報・志願者対策本部

広報・志願者対策本部長 米田 政明
 広報戦略室長 成瀬 喜則
 志願者対策室長 金子 龍一

■ 図書館情報センター

図書館情報センター長 水谷淳之介
 副センター長（本郷キャンパス） 椎名 徹
 副センター長（射水キャンパス） 篠川 敏行

■ 財務室

財務室長 丁子 哲治

■ 事務局

事務部長 杉森 伸平
 総務課長 中三川敏之
 管理課長 五条 寿久
 学務課長 萩原 隆一
 学生課長 伊藤 幹雄

■ 技術室

技術室長 丁子 哲治

■ 教職員の現員

平成21年10月1日

教	校 長	1
	教 授	51
	准 教 授	51
	講 師	14
員	助 教	12
	助 手	4
	小 計	133
職 員	事 務 職 員	61
	技 術 職 員	26
	小 計	87
合 計		220
学 科	機械システム工学科	13
	電気制御システム工学科	14
	物質化学工学科	13
	電子情報工学科	13
	国際ビジネス学科	12
	商 船 学 科	18
等	一般教養科（本郷）	18
	一般教養科（射水）	18
専 攻 科 専 任		9
セ ン タ ー 専 任		5
合 計		133

3 学科紹介

■機械システム工学科

ものづくりの基礎から最先端まで! めざせ、未来のエンジニア。

機械を構成する材料の物性、製造方法、加工・生産技術、
機械設計に欠かせない材料・熱・流体・機械の力学、電気・情報処理など、
基礎から応用であるシステム構築まで、実験や実習も多く取り入れながら、
総合的な知識・技術を学びます。

ものづくりの基盤となる機械工学の全般的な知識を身につけ、
機械の設計や製造・加工技術の開発などを行う技術者をめざします。



機械システム工学科 教育目標

ものづくりや生産技術の基盤となる機械工学の知識を総合的に身につけ、機器設計、技術開発等を手がける技術者を育成します。

機械とシステム、機械材料、設計と生産、ダイナミクス、エネルギー、計測と制御に関する知識と、それらを問題解決に応用できる技術者を育成します。

機械工学的に考察する能力を身につけ、基礎からシステム構築までの総合的な見地から、新技術や新材料の開発・応用へと展開できる創造性・探究心豊かな技術者を育成します。

Curriculum

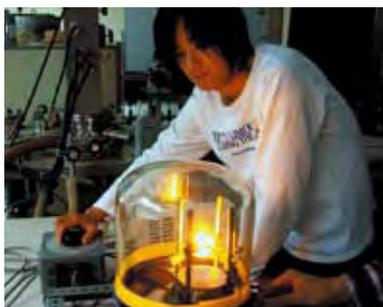
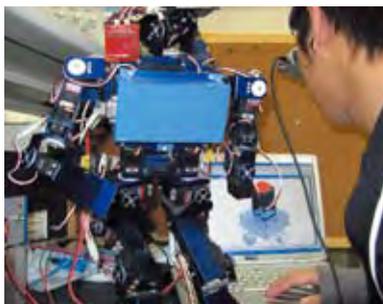
科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
専 門 科 目	ものづくり基礎工学実験	3		3					
	技術者倫理入門	1		1					
	情報基礎	1		1					
	工業力学Ⅰ	1			1				
	工業実習Ⅰ	1			1				
	基礎工学実験Ⅰ	1			1				
	工業力学Ⅱ		1		1				
	工業力学演習		1		1				
	機械製図		2		2				
	実践ものづくり工学		1		1				
	情報処理Ⅰ		1		1				
	基礎材料工学Ⅰ	1					1		
	材料力学Ⅰ	1					1		
	熱力学Ⅰ	1					1		
	工業実習Ⅱ	2					2		
	基礎工学実験Ⅱ	2					2		
	エネルギー機械		1				1		
	応用物理Ⅰ		2				2		
	基礎材料工学Ⅱ		1				1		
	材料力学Ⅱ		1				1		
	製造と加工Ⅰ		1				1		
	機械構造学		1				1		
	設計製図		1				1		
	情報処理Ⅱ		1				1		
	流体工学Ⅰ	1						1	
	基礎研究	1						1	
	システム工学実験Ⅰ	1						1	
	システム工学実験Ⅱ	1						1	
	熱力学Ⅱ		2					2	
	応用数学Ⅰ		1					1	
	応用数学Ⅱ		1					1	
	電気・電子回路		1					1	
	機械計測工学		1					1	
	材料力学Ⅲ		1					1	
	システム設計		1					1	
	実用技術英語Ⅰ		1					1	
	製造と加工Ⅱ		1					1	
	鉄鋼材料		1					1	
	材料分析工学		1					1	
	流体工学Ⅱ		1					1	
	非鉄金属材料		1					1	
	機械力学		1					1	
	プログラミング基礎		1					1	
	応用数学Ⅲ		1					1	
	応用物理Ⅱ		1					1	
	材料プロセス		1					1	
	伝熱工学		1					1	
	反応熱力学		2					2	
	要素設計		1					1	
	インターシップ		2					2	(学外) 集中
	安全工学	1							1
	システム工学実験Ⅲ	1							1
	卒業研究	10							10
	制御工学Ⅰ		1						1
	材料物性Ⅰ		1						1
	実用技術英語Ⅱ		1						1
	環境強度Ⅰ		1						1
	シミュレーション工学		1						1
	生産・品質管理		1						1
	応用数学Ⅳ		1						1
	振動工学		2						2
	材料物性Ⅱ		2						2
	環境強度Ⅱ		1						1
	有機材料		1						1
	流体機械		1						1
	熱機関		1						1
	制御工学Ⅱ		1						1
	強度設計		1						1
	製造と加工Ⅲ		1						1
	応用プログラミング		1						1
	材料強度学		1						1
	機械システム工学特論		1						1
小計(72科目)		31	61	5	9	16	29	33	
合計(141科目)		40	160					一般科目との合計	

電気工学と機械工学の融合

夢のようなテクノロジーを実現できるエンジニアへ

電気、機械、情報の3分野をバランスよく学び、
実験・実習や複合科目を通して、
それぞれの分野にまたがる応用力を身につけた
実践的な技術者を育成します。

卒業後は、電気技術者、機械技術者、または、それらを融合した
ロボットなどを開発する技術者など、幅広い進路の選択が可能です。



電気制御システム工学科

教育目標

電気、機械、情報工学を総合的に身につけ、創造的な技術開発ができる技術者を育成します。

工学の柱である電気と機械の専門知識を統合し、活用できる技術者を育成します。

電気工学的、機械工学的に考える能力を身につけ、数学、物理、化学に基づいた、「ものづくり」ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
専 門 科 目	ものづくり基礎工学実験	3		3					
	技術者倫理入門	1		1					
	情報基礎	1		1					
	基礎電気工学	2			2				
	情報処理	2			2				
	設計製図Ⅰ	2			2				
	ものづくり工学	1			1				
	基礎工学実験	2			2				
	システム工学実験Ⅰ	2					2		
	基礎工学演習		1				1		
	応用物理Ⅰ		1				1		
	電気磁気学Ⅰ		2				2		
	電気回路Ⅰ		2				2		
	コンピュータサイエンス		2				2		
	設計製図Ⅱ		2				2		
	工業力学		2				2		
	メカトロ基礎工学		2				2		
	システム工学実験Ⅱ	2						2	
	応用数学Ⅰ		1					1	
	応用数学Ⅱ		1					1	
	応用物理Ⅱ		1					1	
	応用数学Ⅲ		1					1	
	工業英語Ⅰ		1					1	
	電気磁気学Ⅱ		1					1	
	電気磁気学Ⅲ		1					1	
	電気回路Ⅱ		2					2	
	電気回路Ⅲ		1					1	
	電気機械Ⅰ		2					2	
	電子回路Ⅰ		1					1	
	電子回路Ⅱ		1					1	
	計算機システムⅠ		1					1	
	計測工学Ⅰ		1					1	
	制御工学Ⅰ		1					1	
	制御工学Ⅱ		1					1	
	機械力学Ⅰ		2					2	
	流体力学		1					1	
	熱力学		1					1	
	機械工作法		1					1	
	材料力学Ⅰ		2					2	
	材料力学Ⅱ		1					1	
	メカトロ創造設計		2					2	
	インターンシップ		2					2	(学外) 集中
	基礎研究		1					1	
	システム工学実験Ⅲ	1							1
	卒業研究	10							10
	応用数学Ⅳ		1						1
	工業英語Ⅱ		1						1
	電気材料		2						2
	電気機械Ⅱ		2						2
	パワーエレクトロニクス		1						1
	電子工学Ⅰ		1						1
	電子工学Ⅱ		1						1
	通信工学		2						2
	計算機システムⅡ		1						1
	計測工学Ⅱ		1						1
	制御工学Ⅲ		1						1
	シミュレーション工学		2						2
	システム工学		1						1
	ロボット工学Ⅰ		1						1
	ロボット工学Ⅱ		1						1
	機械力学Ⅱ		2						2
	流体制御工学		1						1
	エネルギー変換工学		1						1
	CAD/CAM工学		2						2
	材料工学		2						2
小計(65科目)		29	72	5	9	16	33	38	
合計(134科目)		38	171					一般科目との合計	

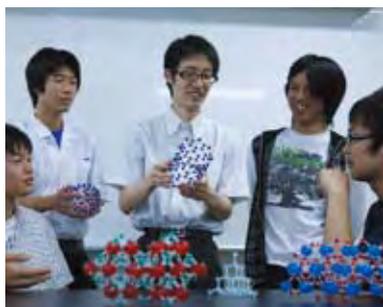
■物質化学工学科

化学のおもしろさと出会いながら、 実験を通して確かな技術と知識を。

化学・生物化学を中心とした学科です。

中心科目は、講義と実験の2本立てで、化学分析や合成・物性測定など、
多くの実験で確かな技術と知識を身につけます。

注目度の高いナノマテリアル・環境技術等の
幅広い知識と最先端技術の知識を活かし、
化学・医薬品工業分野で活躍する技術者をめざします。



物質化学工学科 ■ 教育目標

化学・生物化学を基礎として、ナノマテリアル・機能性材料・高分子材料・エコテクノロジー等の幅広い分野に関する知識と最先端技術に関する深い知識を備えた技術者を育成します。

環境に配慮した有機・無機材料やエネルギー関連物質および環境保全技術の開発・改良を自ら企画・実行できる能力と高い技術者倫理を身につけた技術者を育成します。

地域の重要産業である化学・医薬品工業および高分子工業の発展と持続的社會構築および環日本海環境の保全・改善に貢献できる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
専門科目	ものづくり基礎工学実験	3		3					
	技術者倫理入門	1		1					
	情報基礎	1		1					
	分析化学実験	3			3				
	有機化学Ⅰ		1			1			
	無機化学Ⅰ		2			2			
	分析化学Ⅰ		1			1			
	生物化学		1			1			
	情報処理Ⅰ		1			1			
	有機化学実験	2					2		
	無機化学実験	2					2		
	物理化学実験	2					2		
	特別実験	1					1		
	有機化学Ⅱ		1				1		
	分析化学Ⅱ		1				1		
	基礎化学工学		2				2		
	基礎生物化学		2				2		
	無機化学Ⅱ		1				1		
	物理化学Ⅰ		2				2		
	化学工学実験	2						2	
	生物化学実験	2						2	
	基礎研究	1						1	
	応用数学Ⅰ		1					1	
	応用数学Ⅱ		1					1	
	応用物理Ⅰ		1					1	
	有機化学Ⅲ		1					1	
	有機工業化学	2						2	
	無機工業化学	2						2	
	無機化学Ⅲ		1					1	
	化学工学Ⅰ		1					1	
	生物化学Ⅰ		1					1	
	物理化学Ⅱ		1					1	
	材料工学Ⅰ		1					1	
	材料工学Ⅱ		1					1	
	機器分析Ⅰ		1					1	
	情報処理Ⅱ		1					1	
	有機材料工学実験	2						2	
	無機材料工学実験	2						2	
	化学英語 a		2					2	
	化学英語 b		2					2	
	応用物理Ⅱ		1					1	
	有機化学Ⅳ		1					1	
	生物化学Ⅱ		1					1	
	物理化学Ⅲ		1					1	
	インターンシップ			2				2	(学外) 集中
	卒業研究	10							10
	反応工学		1					1	
	先端化学Ⅰ a		2					2	
	先端化学Ⅰ b		2					2	
	先端化学Ⅱ a		2					2	
	先端化学Ⅱ b		2					2	
	応用数学Ⅲ		1					1	
	応用数学Ⅳ		1					1	
	応用物理Ⅲ		1					1	
	応用物理Ⅳ		1					1	
	有機化学Ⅴ		1					1	
	高分子化学		1					1	
	化学工学Ⅱ		1					1	
	分子生物学		1					1	
	遺伝子工学		1					1	
	薬理学		1					1	
	機器分析特論		1					1	
	エコマテリアル		1					1	
	機器分析Ⅱ		1					1	
	C A D		1					1	
	品質管理		1					1	
	安全工学		1					1	
	環境科学		1					1	
	物質化学工学特論		1					1	
小計 (69科目)		30	72	5	9	16	35	37	
合計 (138科目)		39	171					一般科目との合計	

近未来ネットワーク社会を支える 電子情報技術のスペシャリストに。

実習や演習を多く取り入れた実験重視型教育で
ソフトウェア、電子工学、通信ネットワークについて体系的に学び、
「自ら考えてものをつくる」ための
総合的な専門知識技能を身につけます。
デジタル技術の明日を担う技術者を育成します。



電子情報工学科 ■ 教育目標

システムからアプリケーションまでの総合的なプログラムが設計開発できる技術者を育成します。

センサからインターフェイスを含む電子回路設計ができる技術者を育成します。

プログラムや回路を有機的に結びつけるネットワーク設計ができる技術者を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年	
専 門 科 目	ものづくり基礎工学実験	3		3					
	技術者倫理入門	1		1					
	情報基礎	1		1					
	基礎電気Ⅰ	1			1				
	基礎電気Ⅱ	1			1				
	計算機システム	1			1				
	論理回路	1			1				
	プログラミングⅠ	1			1				
	プログラミングⅡ	1			1				
	工学演習Ⅰ	1			1				
	電子情報工学実験Ⅰ	2			2				
	電子情報工学実験Ⅱ	3					3		
	応用物理Ⅰ		1				1		
	応用物理Ⅱ		1				1		
	電気回路Ⅰ		1				1		
	電気回路Ⅱ		1				1		
	電子回路Ⅰ		1				1		
	電子回路Ⅱ		1				1		
	プログラミングⅢ		1				1		
	計算機構成論Ⅰ		1				1		
	計算機構成論Ⅱ		1				1		
	アルゴリズムとデータ構造Ⅰ		1				1		
	アルゴリズムとデータ構造Ⅱ		1				1		
	情報数Ⅰ		1				1		
	工学演習Ⅱ		1				1		
	電子情報工学実験Ⅲ	3						3	
	応用数学Ⅰ		1					1	
	応用数学Ⅱ		1					1	
	応用物理Ⅲ		1					1	
	応用物理Ⅳ		1					1	
	電気磁気学Ⅰ		1					1	
	電気磁気学Ⅱ		1					1	
	電気回路Ⅲ		1					1	
	センサ工学		1					1	
	電子システムⅠ		1					1	
	電子システムⅡ		1					1	
	電子通信工学Ⅰ		1					1	
	電子通信工学Ⅱ		1					1	
	通信システムⅠ		1					1	
	通信システムⅡ		1					1	
	オペレーティングシステムⅠ		1					1	
	オペレーティングシステムⅡ		1					1	
	デジタル信号処理Ⅰ		1					1	
	デジタル信号処理Ⅱ		1					1	
	数値計算		1					1	
	情報数Ⅱ		1					1	
	創造工学設計Ⅰ		2					2	
	創造工学設計Ⅱ		2					2	
	インターンシップ		2					2	(学外) 集中
	卒業研究	10							10
	応用数学Ⅲ		2						2
	応用数学Ⅳ		2						2
	技術英語		1						1
	電子デバイス		1						1
	制御工学Ⅰ		1						1
	制御工学Ⅱ		1						1
	電子回路Ⅲ		1						1
	電子回路Ⅳ		1						1
	コンピュータ計測Ⅰ		1						1
	コンピュータ計測Ⅱ		1						1
	電波工学		1						1
	応用電磁システム		1						1
	情報ネットワークⅠ		1						1
	情報ネットワークⅡ		1						1
	ソフトウェア工学Ⅰ		1						1
	ソフトウェア工学Ⅱ		1						1
	メディア工学Ⅰ		1						1
	メディア工学Ⅱ		1						1
	計算工学Ⅰ		1						1
	計算工学Ⅱ		1						1
	情報理論		1						1
小計(71科目)		30	62	5	9	16	29	33	
合計(140科目)		39	161					一般科目との合計	

富山から環日本海へ、世界へ。 ビジネスシーンでキラめく“智究人”!

国際的なコミュニケーションの基礎となる英語や環日本海諸国語という、

2つの“使える外国語能力”を身につけ、

ビジネスに関する専門的な知識を学びます。

さまざまな情報を処理して活用する手法やプレゼンテーション技術などを養い、

環日本海交流の拠点をめざす富山県を中心として、

国際的に活躍し、地域社会や地域産業に貢献できるビジネスパーソンを育成します。



国際ビジネス学科

教育目標

ビジネスに関する専門的な知識を身につけ、活用できる人材を育成します。

英語と、もう一つの外国語（中国語・韓国語・ロシア語）が使える語学力を身につけたビジネスパーソンを育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
専	商学概論 I	1		1						
	商学概論 II	1		1						
	情報概論 I	1		1						
	情報基礎演習 I	1		1						
	物流概論 II	1			1					
	物流概論 II	1			1					
	マーケティングインテグレーション I		1		1					
	マーケティングインテグレーション II		1		1					
	会計学概論 I	1			1					
	会計学概論 II	1			1					
	情報基礎 III		1		1					
	情報基礎 IV		1		1					
	情報基礎演習 II		1		1					
	英語演習 I	1					1			
	英語演習 II	1					1			
	流通データ分析 I		1				1			
	流通データ分析 II		1				1			
	財務会計論 I		1				1			
	財務会計論 II		1				1			
	経済学概論 I	1					1			
	経済学概論 II	1					1			
	法学概論 I	1					1			
	法学概論 II	1					1			
	経営学概論 I	1					1			
	経営学概論 II	1					1			
	環日本海社会経済史 I	1					1			
	環日本海社会経済史 II	1					1			
	環日本海諸国語演習 I (中国語)		1				1			
	環日本海諸国語演習 I (韓国語)		1				1			
	環日本海諸国語演習 I (ロシア語)		1				1			
	環日本海諸国語演習 II (中国語)		1				1			
	環日本海諸国語演習 II (韓国語)		1				1			
	環日本海諸国語演習 II (ロシア語)		1				1			
	ビジネスゼミナール I	1						1		
	ビジネスゼミナール II	1						1		
	門	国際物流論 I		1				1		
		国際物流論 II		1				1		
		管理会計論 I		1				1		
		管理会計論 II		1				1		
		民法 I		1				1		
民法 II			1				1			
経営戦略論 I			1				1			
経営戦略論 II			1				1			
経営情報 I			1				1			
経営情報 II			1				1			
環日本海社会経済史 III			1				1			
環日本海社会経済史 IV			1				1			
ビジネス英語			2				2			
時事英語講読			2				2			
環日本海諸国語演習 III (中国語)			2				2			
環日本海諸国語演習 III (韓国語)			2				2			
環日本海諸国語演習 III (ロシア語)			2				2			
科		環日本海諸国語表現 I (中国語)		1			1			
		環日本海諸国語表現 I (韓国語)		1			1			
		環日本海諸国語表現 I (ロシア語)		1			1			
	環日本海諸国語表現 II (中国語)		1			1				
	環日本海諸国語表現 II (韓国語)		1			1				
	環日本海諸国語表現 II (ロシア語)		1			1				
	環日本海諸国語表現 III (中国語)		2			2				
	環日本海諸国語表現 III (韓国語)		2			2				
	環日本海諸国語表現 III (ロシア語)		2			2				
	金融論 I		1				1			
	金融論 II		1				1			
	インターンシップ			2				2	(学外) 集中	
卒業研究	10							10		
目	流通システム論 I		1					1		
	流通システム論 II		1					1		
	ビジネス英語演習 I		1					1		
	ビジネス英語演習 II		1					1		
	時事英語演習		2					2		
	ビジネス環日本海諸国語 (中国語)		2					2		
	ビジネス環日本海諸国語 (韓国語)		2					2		
	ビジネス環日本海諸国語 (ロシア語)		2					2		
	時事環日本海諸国語 (中国語)		2					2		
	時事環日本海諸国語 (韓国語)		2					2		
	時事環日本海諸国語 (ロシア語)		2					2		
	海運論 I		1					1		
	海運論 II		1					1		
	保険論 I		1					1		
	保険論 II		1					1		
	ビジネスと法 I		1					1		
	ビジネスと法 II		1					1		
	経営管理論 I		1					1		
	経営管理論 II		1					1		
	経営科学 I		1					1		
経営科学 II		1					1			
環日本海社会地域経済論 I		1					1			
環日本海社会地域経済論 II		1					1			
英語圏異文化実習		4					4	集中		
環日本海諸国異文化実習		4					4	集中		
小計 (91科目)		31	91	5	9	20	40	48		
合計 (153科目)		39	198						一般科目との合計	

サービスエリアは地球。 世界の海で活躍するグローバルスペシャリスト。

「航海コース」と「機関コース」との2つから成る複合学科で、海と船で使われる様々なテクノロジーを勉強し、世界中で活躍するナビゲータやエンジニアをめざします。最新のシミュレータやハイテク練習船で実習しながら、実物を使って理論と技術を学び、即戦力を身につけます。大きな船で海外へ航海に出る乗船実習があるので、修業年限は5年6ヶ月となり、卒業は6年生の9月になります。



商船学科 教育目標

船舶のスペシャリストとして必要な専門知識を身につけます。

船舶をフィールドとしたシステムの管理、構築ができるように実験や実習を通して専門的な能力を育成します。

船舶システムを良好に運用するのに必要なマナーとシーマンシップを実習や舩によって習得します。

専門的な応用力が開発できるよう、知識、技術、管理能力における基礎力を育成します。

Curriculum

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
航海・機関 共通科目	船用機関概論 I	1		1						
	船用機関概論 II	1		1						
	海報実習	1		1						
	電気電子工学 I	1	1							
	電気電子工学 II	1			1					
	船舶安全工学 I	1					1			
	船舶安全工学 II	1					1			
	電子回路	1					1			
	電気機器	1					1			
	船舶工学 I	1						1		
	船舶工学 II	1						1		
	海事法 I	1						1		
	海事法 II	1						1		
	計測・自動制御工学 I	1						1		
	計測・自動制御工学 II	1						1		
	応用数学 I		1					1		
	応用数学 II		1					1		
	インターネットシッ		2					2		(学外) 集中
	海洋科学概論		1						1	
	船舶工学特論		1						1	
	航海科学特論		1						1	
	航海法特論		1						1	
	船体管理特論		1						1	
	航海特論		1						1	
	制御システム特論		1						1	
	航海実務		1						1	
	電気電子工学特論		1						1	
	蒸気原動機特論		1						1	
	生産システム工		1						1	
	熱機関工学 I		1						1	
	熱機関工学 II		1						1	
	伝熱工学		1						1	
	材料学特論		1						1	
	機関実務		1						1	
	小計 (35科目)		15	21						
専門科目	航海概論 I	1		1						
	校内練習船実習 II	1		1						
	航海概論 II	1			1					
	航海測位論 I	1			1					
	航海英語 I	1			1					
	運用概論 I	1			1					
	運用概論 II	1			1					
	校内練習船実習 II	1			1					
	航海力学 I		1		1					
	航海力学 II		1		1					
	航海測位論 II	1				1				
	航海測位論 III	1				1				
	航海計測論 I	1				1				
	船体管理論 I	1				1				
	船体管理論 II	1				1				
	航海実務 I	1				1				
	校内練習船実習 III	1				1				
	情報処理実務 II		1			1				
	商船実務 I		1			1				
	航海学ゼミ III		1			1				
	航海測位論 IV	1					1			
	航海計測論 II	1					1			
	船体運動論	1					1			
	海洋気象論 I	1					1			
	海洋気象論 II	1					1			
	海運論 I	1					1			
	海運論 II	1					1			
	海上交通論 II	1					1			
	実務実習 II	3					3			
	校内練習船実習 IV	1					1			
	国際物流論		1				1			
	応用力学 I		1				1			
	応用力学 II		1				1			
	商船学演習		1				1			
	航海学ゼミ II		3				3			
	航海システム論 II	1							1	
	航海英語 II	1							1	
	卒業研究 III	5							5	
	船機実務		1						1	
	小計 (41科目)		37	14						
	機関コース	校内練習船実習 I	1		1					
航海概論 I		1	1	1						
機関英語 I		1			1					
工学実習		2				2				
力学 I		1				1				
力学 II		1				1				
校内練習船実習 II		1				1				
航海概論 II			1							
商船学演習			1			1				
内燃機関工学 I		1					1			
内燃機関工学 II		1					1			
工業熱力学 I		1					1			
工業熱力学 II		1					1			
材料力学 I		1					1			
材料力学 II		1					1			
情報処理 II		1					1			
実務実習 I		3					3			
校内練習船実習 III		1					1			
海上交通論			1				1			
商船実務 III			1				1			
内燃機関工学 IV		1						1		
蒸気原動機工学 I		1						1		
蒸気原動機工学 II		1						1		
補助機械工学 I		1						1		
補助機械工学 II		1						1		
パワーエレクトロニクス I		1						1		
パワーエレクトロニクス II		1						1		
工業材料学 I		1						1		
設計図		3						3		
流体工学 I		1						1		
流体工学 II		1						1		
実務実習 II		3						3		
校内練習船実習 IV		1						1		
機関学ゼミ III			1					1		
蒸気原動機工学 III	1							1		
工業材料学 II	1							1		
機関英語 II	1							1		
卒業研究	5							5		
船舶航海実務		1						1		
小計 (40科目)		44	7	8	18	30	48	34		
航海コース 合計 (146科目)		60	135						一般科目との合計	
機関コース 合計 (145科目)		67	128						一般科目との合計	

■一般教養科

一般教養科には、各分野の一般科目を担当する専任教員を配置し、社会人として必要な教養と専門分野の知識・技術を修得するために必要な基礎学力を育成します。

Curriculum 工学系4学科

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
一般科目	総合国語 I A		2	2						
	総合国語 I B		2	2						
	総合国語 II		2			2				
	総合国語 III		2				2			
	国語表 現		1					1		
	日本文学講 読		1						1	
	歴史 I		2		2					
	歴史 II		2			2				
	歴史学 I		1						1	
	歴史学 II		1					1		
	倫理学 I		2			2				
	哲学 I		1						1	
	哲学 II		1					1		
	政治・経済		2				2			
	経済学 I		1						1	
	経済学 II		1					1		
	法 学		1							1
	基礎数学 A I	2			2					
	基礎数学 A II	2			2					
	基礎数学 B	2			2					
	数学演習			1	1					
	微分積分学			4						
	線形代数			2		4				
	解析学			4						
	総合数学			1			4			
	数学特講 I			1					1	
	数学特講 II			1					1	
	統計学			1					1	
	物理学 I (*)	[3]	(2)		[3] (2)					
	物理学 II		2			2				
	物理学 III		1				1			
	化学 I (*)	(3)	[2]		(3) [2]					
	化学 II		2			2				
	保健		1		1					
	体育 I		2		2					
	体育 II		2			2				
	体育 III		2				2			
	体育 IV		1					1		
	体育 V		1						1	
	音楽		1		1					
	美術		1		1					
	書道		1		1					
	総合英語 I		3		3					
	総合英語 II		3			3				
	総合英語 III		3				3			
	総合英語 IV		1					1		
	総合英語 V		1					1		
	英語表 現 I		2		2					
	英語表 現 II		2			2				
	英語表 現 III		2				2			
	英会話 I		1		1					
	英会話 II		1			1				
	英会話演習 I		1					1		
	英会話演習 II		1					1		
	英語演習 I		1					1		
	英語演習 II		1					1		
	英語演習 III		1						1	
	環日本海諸国語 I (中国語)		1					1		
	環日本海諸国語 I (韓国語)		1					1		
	環日本海諸国語 I (ロシア語)		1					1		
	環日本海諸国語 II (中国語)		1					1		
	環日本海諸国語 II (韓国語)		1					1		
	環日本海諸国語 II (ロシア語)		1					1		
	環日本海諸国語 III (中国語)		1						1	
	環日本海諸国語 III (韓国語)		1						1	
	環日本海諸国語 III (ロシア語)		1						1	
	英語圏異文化実習		3					3		集中
	環日本海諸国異文化実習		3					3		集中
	海洋フィールドエンジニアリング		1					1		
小計 (69科目)		9	99							

(*) 機械システム工学科、電気制御システム工学科、電子情報工学科は、「物理学 I」が3単位必修、「化学 I」が2単位選択。
物質化学工学科は、「化学 I」が3単位必修、「物理学 I」が2単位選択。

Curriculum 国際ビジネス学科

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
一般科目	総合国語 I A	2		2						
	総合国語 I B	2		2						
	総合国語 II		2			2				
	総合国語 III		2				2			
	国語表 現		1					1		
	日本文学 講読		1						1	
	歴史 I		2		2					
	歴史 II		2			2				
	歴史学 I		1					1		
	歴史学 II		1					1		
	地理		2		2					
	倫理		2			2				
	哲学 I		1					1		
	哲学 II		1					1		
	政治・経済		2				2			
	経済学 I		1					1		
	経済学 II		1					1		
	法学		1						1	
	数学 I		2		2					
	数学 II		2			2				
	数学 III		2				2			
	理科 I		2		2					
	理科 II		2			2				
	保健		1		1					
	体育 I		2		2					
	体育 II		2			2				
	体育 III		2				2			
	体育 IV		1					1		
	体育 V		1						1	
	音楽		1		1					
	美術		1		1					
	書道		1		1					
	総合英 語 I	2			2					
	総合英 語 II	2				2				
	総合英 語 III		2				2			
	総合英 語 IV		1					1		
	総合英 語 V		1					1		
	総合英 語 VI		1						1	
	総合英 語 VII		1						1	
	英語表 現 I		2		2					
	英語表 現 II		2			2				
	英会話 I		4		4					
	英会話 II		4			4				
	英会話 III		2				2			
	英会話 IV		1					1		
	英会話 V		1					1		
	グローバル・リテラシー		1				1			
	環日本海諸国語 I (中国語)		2		2					
	環日本海諸国語 I (韓国語)		2		2					
	環日本海諸国語 I (ロシア語)		2		2					
	環日本海諸国語 II (中国語)		2		2					
	環日本海諸国語 II (韓国語)		2		2					
	環日本海諸国語 II (ロシア語)		2		2					
	環日本海諸国語 III (中国語)		4			4				
	環日本海諸国語 III (韓国語)		4			4				
	環日本海諸国語 III (ロシア語)		4			4				
	環日本海諸国語 IV (中国語)		4				4			
	環日本海諸国語 IV (韓国語)		4				4			
	環日本海諸国語 IV (ロシア語)		4				4			
	言語学 I		1					1		
	言語学 II		1					1		
	海洋フィールドエンジニアリング		1					1		
小計 (62科目)		8	107	38	32					

Curriculum 商船学科

科目区分	授業科目	単位数		学年別配当					備考	
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	5年		
一般科目	総合国語 I A		2	2						
	総合国語 I B		2	2						
	総合国語 II		2			2				
	総合国語 III		2				2			
	国語表現		1					1		
	日本文学講読		1						1	
	歴史 I		2		2					
	歴史 II		2			2				
	歴史学 I		1					1		
	歴史学 II		1					1		
	地理		2		2					
	倫理		2			2				
	哲学 I		1					1		
	哲学 II		1					1		
	政治・経済		2				2			
	経済学 I		1					1		
	経済学 II		1					1		
	法学		1						1	
	基礎数学 A I	2		2						
	基礎数学 A II	2		2						
	基礎数学 B	2		2						
	微積分学		4			4				
	線形代数		2			2				
	解析学		4				4			
	統計学		1				1			
	総合数学		1				1			
	数学特講 I		1					1		
	数学特講 II		1					1		
	物理学 I	2		2						
	物理学 II		2			2				
	物理学 III		1				1			
	化学 I		2	2						
	化学 II		2			2				
	保健		1	1						
	体育 I		2	2						
	体育 II		2			2				
	体育 III		2				2			
	体育 IV		1					1		
	体育 V		1						1	
	音楽		1	1						
	美術		1	1						
	書道		1	1						
	総合英語 I		3	3						
	総合英語 II		3			3				
	総合英語 III		2				2			
	総合英語 IV		1					1		
	総合英語 V		1					1		
	総合英語 VI		1						1	
	英語表現 I		2	2						
	英語表現 II		2			2				
	英語表現 III		2				2			
	英会話 I		1	1						
	英会話 II		1			1				
	英会話演習 I		1					1		
	英会話演習 II		1					1		
	英語演習 I		1						1	
	英語演習 II		1						1	
	英語演習 III		1						1	
	環日本海諸国語 I (中国語)		1					1		
	環日本海諸国語 I (韓国語)		1					1		
	環日本海諸国語 I (ロシア語)		1					1		
	環日本海諸国語 II (中国語)		1					1		
	環日本海諸国語 II (韓国語)		1					1		
	環日本海諸国語 II (ロシア語)		1					1		
	環日本海諸国語 III (中国語)		1						1	
	環日本海諸国語 III (韓国語)		1						1	
	環日本海諸国語 III (ロシア語)		1						1	
	英語圏異文化実習		3					3		集中
	環日本海諸国異文化実習		3					3		集中
	海洋フィールドエンジニアリング		1					1		
小計 (70科目)		8	100							

4 専攻科紹介

専攻科は、工学系のエコデザイン工学専攻及び制御情報システム工学専攻、商船系の海事システム工学から成り、新たに国際ビジネス学科を基礎学科とする人文社会系の国際ビジネス学専攻の設置を予定しています。そして、幅広い豊かな教養と高度な専門的知識を有する人材を育成します。工学系では入学定員を拡充し、入学定員は40人となります。

エコデザイン工学専攻

機械・電気システム工学コース

機械系あるいは電気系の工学分野で修得した知識・技術を基とし、機械・電気・制御の知識を駆使し高度化した複合システムの開発を支える技術者を育成します。

機能材料工学コース

最近の技術革新を支える種々の機能材料を中心とした研究・開発能力を有する創造的技術者を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考		
			1年前	1年後	2年前	2年後			
専 門 科 目	共通科目	応用解析学	2						
		量子論	2	2					
		エネルギー論	2	2					
		計測・制御論	2		2				
		物質構造論	2	2					
		○環境工学	2			2			
		プログラミング演習	1	1					
		生物工学	2			2			
		移動現象論	2			2			
		材料物性工学Ⅰ	2	2					
		○工学倫理	2			2			
		基礎工学力学	2		2				
		○技術と環境	2			2			
		MOT入門	2	2					
		工業数学	2		2				
		○インターンシップ	2		2				
		○特別演習	2	2					
		○特別実験	2		2				
		国際インターンシップ (共通科目開設単位計)	3	3					
	38	13	15	6	4				
専 門 科 目	機械・電気システム工学コース	振動エネルギー工学	2			2			
		応用精密加工学	2	2					
		メカトロニクス	2	2					
		シミュレーション工学演習	1		1				
		ロボット工学演習	1		1				
		エネルギー機械演習	1		1				
		流体工学特論	2	2					
		熱工学特論	2		2				
		弾塑性力学	2			2			
		振動工学特論	2			2			
		パワーエレクトロニクス	2	2					
		電子物性論	2			2			
		薄膜工学	2			2			
		電磁波工学	2		2				
		機械・電気システム工学特論	2			2	集中講義		
		○機械・電気システム工学特別研究	14	2	2	6	4		
		(機械・電気システム工学コース 開設単位計)	41	10	6	11	14		
		専 門 科 目	機能材料工学コース	反応化学	2	2			
				機能材料物理化学	2		2		
材料機能学	2				2				
機器分析特論	2					2			
無機材料特論	2					2			
物理化学特論	2			2					
機能性高分子材料	2			2					
精密有機合成化学	2				2				
生物機能概論	2				2				
天然物化学	2					2			
金属材料加工学	2				2				
材料プロセス工学	2			2					
材料物性工学Ⅱ	2					2			
複合材料工学	2					2			
機能材料工学特論	2					2	集中講義		
○機能材料工学特別研究	14			2	2	6	4		
(機能材料工学コース 開設単位計)	44			10	8	12	14		
機械・電気システム工学コース 専門科目 開設単位 小計	79			23	21	17	18		
機能材料工学コース 専門科目 開設単位 小計	82			23	23	18	18		
機械・電気システム工学コース 一般・専門科目 開設単位 合計	94	27	24	19	24				
機能材料工学コース 一般・専門科目 開設単位 合計	95	27	24	20	24				
一般・専門科目 修得単位 合計		62	単位以上修得						

※ ○印 必修科目

■制御情報システム工学専攻

ソフトウェア、電気電子、ネットワークの技術を身に付け、これらを有機的に結びつけたシステムを設計できるソフトウェアエンジニアを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
専 門 共 通 科 目	○技術者倫理・企業倫理	2				2	
	○技術英語A	2			2		
	○応用数学特論	2	2				
	○応用物理学特論	2	2				
	技術英語B	2				2	
	数学・物理学演習	2		2			
	国際関係論	2				2	
	経営戦略特論	2		2			
	オペレーションズ・リサーチ	2			2		
	情報処理工学	2	2				
	シミュレーション工学	2		2			
	パラメータ設計	2			2		
	生産開発システム	2				2	
	インターンシップA(国内)	2	2				
	インターンシップB(英語圏)	3	3				
専門共通科目開設単位数	31	11	6	6	8		
科 目	○制御情報システム工学特別研究	14	2	2	5	5	
	○制御情報システム工学実験	4	2	2			
	○制御情報システム工学演習	4		4			
	オブジェクト指向プログラミング	2		2			
	計測制御システム工学	2	2				
	量子エレクトロニクス	2		2			
	機能システム制御	2	2				
	電子物性工学	2	2				
	パターン認識工学	2			2		
	生体情報工学	2			2		
	計算工学	2		2			
	ネットワークシステム工学	2			2		
	知能情報処理工学	2		2			
専門専攻科目開設単位数	42	10	16	11	5		
専門科目開設単位数計	73	21	22	17	13		
一般・専門科目単位数計	89	25	24	21	19		
修得単位数合計		62 単 位 以 上					

※ ○印 必修科目

国際ビジネス学専攻 (平成22年度設置予定)

経営学に関する高度な専門的知識とビジネスに関する実践的な能力を併せ持ち、環日本海地域ビジネスに関わるコーディネーター、プロジェクトマネージャーを育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考	
			1年		2年			
			前期	後期	前期	後期		
専門科目	○技術者倫理・企業倫理	2				2		
	技術英語A	2			2			
	技術英語B	2				2		
	国際関係論	2				2		
	○経営戦略特論	2		2				
	オペレーションズ・リサーチ	2			2			
	情報処理学	2	2					
	MOT入門	2			2			
	インターンシップA(国内)	2	2					
	インターンシップB(英語圏)	3	3					
	専門共通科目開設単位数	21	7	2	6	6		
	専門科目	○国際ビジネス学特別研究	16	4	4	4	4	
		○経営学特論I	2	2				
		○経営学特論II	2		2			
		専門英書講読	2		2			
		○技術・産業演習	2	2				
		○経営管理特論	2	2				
		○環日本海ビジネス事情	2	2				
		○環日本海ビジネス演習	2		2			
		○数理意思決定論	2			2		
		応用情報処理論	2			2		
ビジネス会計論		2			2			
○マーケティング特論		2		2				
○現代流通論		2	2					
○商業英語		2		2				
専門専攻科目開設単位数	42	14	14	10	4			
専門科目開設単位数計	63	21	16	16	10			
一般・専門科目単位数計	79	25	18	20	16			
修得単位数合計		62 単位以上						

※ ○印 必修科目

■ 海事システム工学専攻

陸上と船舶を繋ぐ視点及び陸上の視点から、深く体系的に学び、新たな物流・輸送システム、新たなプラント等の設計、開発などのシステム創生を担える人材を育成します。

Curriculum 専門科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
専 門 共 通 科 目	○技術者倫理・企業倫理	2	2				
	○技術英語B	2	2				
	○応用数学特論	2		2			
	○応用物理学特論	2		2			
	技術英語A	2				2	
	数学・物理学演習	2			2		
	国際関係論	2			2		
	経営戦略論	2			2		
	オペレーションズ・リサーチ	2				2	
	情報処理学	2		2			
	シミュレーション工学	2			2		
	パラメータ設計	2				2	
	生産開発システム	2	2				
	インターンシップA(国内)	2		2			
	インターンシップB(英語圏)	3		3			
専門共通科目開設単位数	31	6	11	8	6		
科 目	○海事システム工学特別研究	14	2	2	5	5	
	○海事システム工学実験	4	2	2			
	○海事システム工学演習	4	2	2			
	港湾実務	2				2	
	港湾物流	2				2	
	船用制御システム	2		2			
	ナビゲーション・システム	2			2		
	輸送機器デザイン	2			2		
	海洋施設環境・情報工学	2			2		
	熱機関工学特論	2	2				
	高速空気力学	2		2			
	伝熱工学特論	2	2				
	電子工学特論	2	2				
専門専攻科目開設単位数	42	12	10	11	9		
専門科目開設単位数計	73	18	21	19	15		
一般・専門科目開設単位数計	89	22	23	21	19		
修得単位数合計		62 単位以上					

※ ○印 必修科目

専攻別一般科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年前	1年後	2年前	2年後	
エコデザイン工学専攻	一般	日本文学	2			2	
		日本近代経済史	2			2	
		思想文化史	2		2		
		○環境社会学	2			2	
	外国語	○英語 I	2	2			
		○英語 II	2		2		
		英語コミュニケーション I	2	2			
		英語コミュニケーション II	2		2		
一般科目 開設単位 小計		16	4	4	2	6	

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
制御情報システム工学専攻	○英語特論 I	2	2				
	○英語特論 II	2		2			
	応用英語	2	2				
	日本語・日本文学	2				2	
	地域社会研究	2			2		
	健康科学	2				2	
	産業特論	2			2		
	環日本海文化論	2				2	
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

※ ○印 必修科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
国際ビジネス学専攻	英語特論 I	2	2				
	英語特論 II	2		2			
	○応用英語	2	2				
	日本語・日本文学	2				2	
	地域社会研究	2			2		
	健康科学	2				2	
	産業特論	2			2		
	環日本海文化論	2				2	
一般科目開設単位数		16	4	2	4	6	

※ ○印 必修科目

区分	授業科目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			学期D	学期A	学期B	学期C	
海事システム工学専攻	○英語特論 I	2		2			
	○英語特論 II	2			2		
	日本語・日本文学	2	2				
	地域社会研究	2				2	
	健康科学	2	2				
	産業特論	2				2	
一般科目開設単位数		12	4	2	2	4	

※ ○印 必修科目

5 地域人材開発本部

地域人材開発本部には、地域イノベーションセンター、教育技術センター、国際教育センターの3センターが設置されています。各センターには専任の教員を配置し、以下の事業を展開します。

■地域イノベーションセンター

地域ニーズの発掘とそれに応える研究開発プロジェクトの形成、技術相談・共同研究・受託研究・受託試験の推進、知的財産サイクルの運用に関する事業、他高专との連携強化のためのコーディネート事業、企業化支援、外部資金の獲得支援などを行います。

■教育技術センター

地域と協働した学生の教育、地域人材の教育、教職員の能力向上のために、教育プログラムの企画や開発を行います。具体的には、CO・OP教育、キャリア教育、知財教育の実施、継続性のある地域人材の育成（サイエンス実験、出前授業、フレッシュエンジニア研修など）を行います。

■国際教育センター

学生・教職員の国際性向上のための施策の企画・実施、教育・研究に関する国際交流の推進、国際学術交流協定大学等との交流、海外インターンシップの企画・実施、語学教育の充実、国際共同研究の支援、海外留学の支援を行います。

更には、3センター連携の下、「エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム」を定期的を開催するなど、地域連携による共同研究、共同教育の総合コーディネーション、国際連携による国際教育の総合コーディネーションなどを行います。

6 主要施設

図書館情報センター

本郷キャンパス

図書館

図書館には、理学・工学系の図書37,000冊以上を含め、約74,000冊余りの図書と1,000種類以上の雑誌があります。

閲覧室は開架方式で、自由に閲覧できます。なお、国立情報学研究所などにオンラインで接続して、研究データなどの情報を収集することができます。また、学外者の入館及び貸出しにも応じています。

情報センター

当センターは、(1) 情報処理教育及び広くコンピュータを利用する教育、(2) 教員、学生の研究遂行、(3) 教職員の職務に最適なコンピュータ環境を提供することを目的として設置されています。センターは3つの情報処理演習室の160台を越えるPC端末、それらが接続されるサーバ群を管理運用し、更に学内に張り巡らされたネットワークを管理しています。演習室のPC端末はWindows VistaおよびLinuxが使える環境を提供しており、すべての学生はネットワーク環境により、どのPC端末でも各自固有のコンピュータとして使うことができます。3つの演習室は多くの授業に用いられ、更に放課後は学生に開放されています。図書館2階演習室においては19:00までの使用が可能となっています。また当センターは全学生・教職員のmailやWeb等のサービスを提供しています。本校の学内ネットワークは100Mbps専用回線で学術情報ネットワーク(SINET)と結ばれるほか、公衆回線との2重化により安全快適にインターネットにつながっています。



授業の様子(第2演習室)



図書館・情報センター外観

射水キャンパス

図書館

図書館には、閲覧室・視聴覚室・ゼミナール室等があり、学習に関連する専門書・趣味教養を満たす一般図書及び文庫本等の閲覧貸出、新聞雑誌の閲覧、さらにはレーザーディスク・DVD等の視聴サービスを行っています。

また、調査研究を目的とする者のために、一般開放するとともに、学校週5日制で学生生活を有効に過ごせるよう、土曜開館を行っています。

情報センター

情報センター他には、10数台のサーバマシンと150台のPC端末が設置されており、教育や学術研究の場として利用されています。

また、学内LANは情報センターを経由してインターネットと接続されており、電子メールの利用や世界の情報資源へのアクセスが可能になっています。学生は、授業でプログラム演習、コンピュータ・シミュレーション、ネットワーク等について学習しています。



図書館閲覧室



情報センターにおける演習風景



図書館外観

臨海実習場、練習船若潮丸

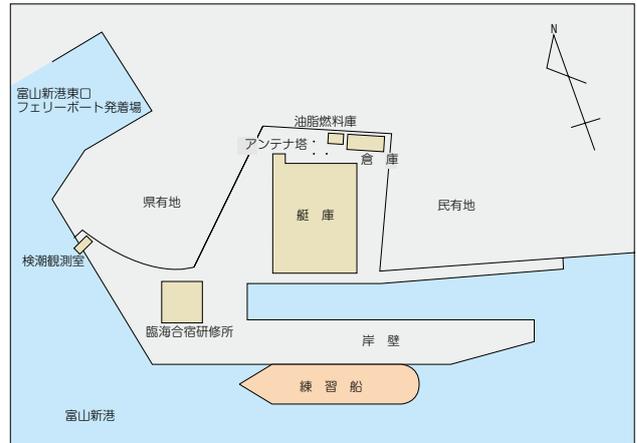
射水キャンパス

臨海実習場

昭和44年に完成した臨海実習場は、射水キャンパスから4キロメートル離れた富山新港の入口に面しており、約100メートルの岸壁を備えています。

主に商船学科の教育実習に利用するほか、全校のカッターレース大会や、ヨット、漕艇部等の課外活動にも活用されています。また、夏季には地域の青少年及び市民に開放する公開講座などの行事にも利用されています。

艇庫には実験、研究用の観測機器や、海洋系教育に必要な多数の模型のほか、カッター、ヨット、ポート、ジェットスキー、救命艇等を保有しています。



臨海実習場と若潮丸



若潮丸

練習船「若潮丸」

資 格 近海区域 第4種船
 主要寸法 全長53.59m 幅10.00m 深さ5.40m
 総 吨 数 231吨 (tons)
 常用速力 12.50ノット (Knots)
 航 続 距 離 2,180海里 (n.m)
 主 機 関 低速ディーゼルエンジン
 1,300PS×390RPM-1基
 最大搭載人員 士官4名、教員3名、部員5名
 学生44名、計56名
 竣工年月日 平成7年9月14日

実習艇及びその他の舟艇

□「さざなみ」

主要寸法 全長16m 幅4.10m 深さ1.22m
 総 吨 数 15吨 (tons)
 常用速力 20.5ノット (Knots)
 最大搭載人員 乗員2名、教員3名、学生20名
 計25名
 竣工年月日 平成3年3月3日

□「わかしお3号」

主要寸法 全長7.90m 幅2.64m 深さ1.27m
 速 力 23.0ノット (Knots)
 最大搭載人員 乗員2名、その他10名、計12名
 竣工年月日 平成10年3月26日

□その他

- ・「べがさす」 1
- ・「ジュピター」 1
- ・伝馬船 2
- ・端艇 4
- ・その他 (ヨット、ジェットスキー、シエルフォア等)

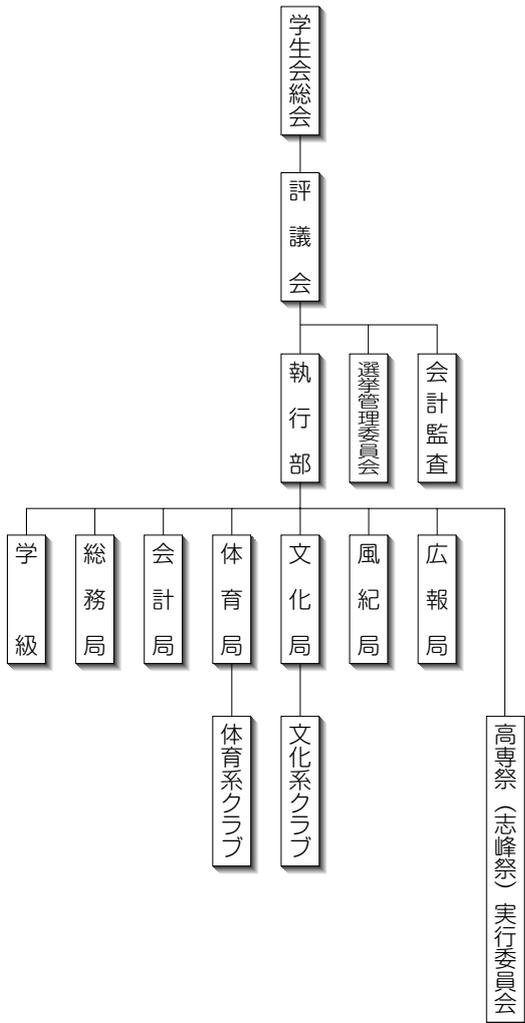
7 学生生活

学校行事

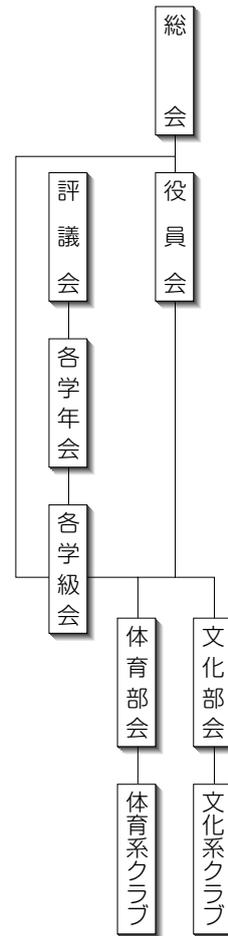
- | | | |
|---|--|---|
| <p>4 ●入学式 ●クラブ紹介
●新入生オリエンテーション</p> <p>5 ●新入生合宿研修
●球技大会（本郷）</p> <p>6 ●高校総体 ●前期中間試験
●球技大会（射水）</p> <p>7 ●北陸地区高専体育大会
●カッターレース大会</p> | <p>8 ●全国高専体育大会</p> <p>9 ●商船学科卒業式
●前期末試験</p> <p>10 ●県外工場等見学
●統一球技大会</p> <p>11 ●ロボットコンテスト
●高専祭</p> | <p>12 ●就職ガイダンス
●後期中間試験</p> <p>1 ●推薦入試</p> <p>2 ●学力入試 ●学年末試験
●卒業研究発表会</p> <p>3 ●卒業式（商船学科を除く）</p> |
|---|--|---|

学生会組織図

本郷キャンパス



射水キャンパス



■クラブ活動

本郷キャンパス

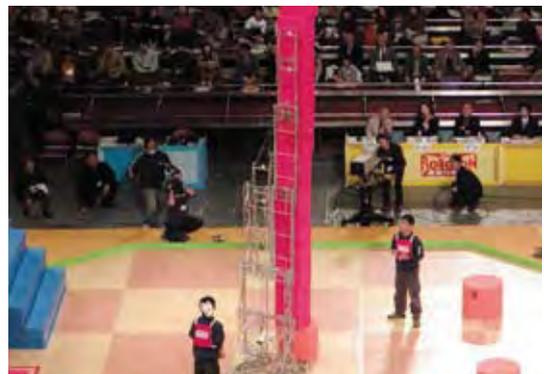
体育系クラブ	文化系クラブ
陸上競技	ブラスバンド
サッカー	メカテック
野球	茶道
柔道	グローバルアクト
弓道	ピアノ
剣道	美術
バレーボール	軽音楽
バスケットボール	写真
ラグビー・フットボール	囲碁・将棋
バドミントン	鉄道
テニス	
ハンドボール	同好会
水泳	コーラス
卓球	
ソフトテニス	

射水キャンパス

体育系クラブ	同好会
ヨット	女子バスケットボール
漕艇	剣道
陸上	水泳
ラグビー	ソフトボール
男子バスケットボール	ダンススポーツ
男子バレーボール	ブレイクダンス
テニス	ウェイトトレーニング
柔道	茶道
野球	軽音楽
サッカー	国際交流ゼミ
女子バレーボール	ボランティア
バドミントン	美術
卓球	漫画研究
	ブルーグラス
文化系クラブ	ヘルススタディ
新聞	キャリア研究
コンピュータ	日本舞踊
吹奏楽	演劇
メカトロ技術研究	文芸
	アントレプレナー研究



ラグビー



メカトロ技術研究



定期演奏会



漕艇

福利厚生施設

本郷キャンパス

竹明館

本施設は、学生及び教職員の福利厚生に寄与することを目的に昭和58年3月に建設されました。この施設には、食堂、売店、集会室、和室などがあり、学生会、課外活動、学生の厚生等に使用されています。

合宿研修所

本研修所は、課外教育活動のための宿泊施設です。合宿研修に必要な集会室、浴室、自炊用具などがあります。学生と教員が寝食を共にして、健全な学生生活を送り、豊かな人間性を育むことを目的として使用されています。



竹明館外観



合宿研修所

射水キャンパス

奈呉の浦会館

1階の南側に一度に80人以上が利用できる食堂を中心に、談話コーナーのある中央ホールが、2階には美術室や学生会室、多目的集会室等、それにお茶等の課外活動のための16畳大の立派な和室が設けられています。

会館全体が実に素晴らしい福利厚生施設となっています。



奈呉の浦会館前風景



売店



食堂

■ 学生寮

学生の就学の便を図るため、学生寮を設置しています。本郷キャンパスでは「^{きょうがくのりょう}仰岳寮」、射水キャンパスでは、「^{わかいりょう}和海寮」と呼ばれ、それぞれのキャンパスの学生を受け入れています。

この学生寮は「教育寮」としての特徴を持ち、大学などの「任意寮」や下宿とは異なり、学生に生活の場を提供するだけでなく、本校教育の一環として、集団生活を通して社会の秩序と倫理を重んじる気風を養うことを目的としています。

また寮生相互の親睦を図るため、学生組織が主催する独自の年間行事が企画されています。そのため学生寮には、家庭にはない友人との語らい、先輩との付き合いがあり、人と人との触れあいの場ともなっています。

仰岳寮（本郷キャンパス）

平成21年5月1日現在

学科 学年	機械工学科	電気工学科	物質工学科	環境材料 工学科	機械・電気 システム 工学専攻	機械材料 工学専攻	合計
1 学年	9	10	7(2)	4(3)			30(5)
2 学年	8	7	7(3)	9(1)			31(4)
3 学年	9(1)	4	6(1)	8			27(2)
4 学年	6	10	5(4)	3			24(4)
5 学年	6	7	10(2)	8(2)			31(4)
専攻科1学年					2	3	5
専攻科2学年					1		1
合計	38(1)	38	35(12)	32(6)	3	3	149(19)

() 内は女子学生内数

和海寮（射水キャンパス）

平成21年5月1日現在

学科 学年	商船学科	電子制御 工学科	情報工学科	国際流通 学	海事システム 工学専攻	制御情報 システム 工学専攻	合計
1 学年	19(4)	8(2)	12(4)	6(6)			45(16)
2 学年	20(2)	3(1)	9(4)	9(7)			41(14)
3 学年	14	3	5(1)	7(6)			29(7)
4 学年	12(2)	8(2)	8(4)	10(8)			38(16)
5 学年	15(2)	8(1)	9(1)	6(6)			38(10)
専攻科1学年							
専攻科2学年						1	1
合計	80(10)	30(6)	43(14)	38(33)		1	192(63)

() 内は女子学生内数

■ 学生相談

本郷キャンパス

□ 学生相談室とKOSEN Cafeの概要

学生相談室には、相談員（本校教員）やカウンセラーが配置されています。また、KOSEN Cafeは、学生同士や学生と教職員が交流する場となっています。

□ 相談の方法

- 学生相談室を直接訪ねます。相談員が在室。
毎月第一火曜日は専門医が在室。
木曜日はカウンセラーが在室。
- 図書館1階のKOSEN Cafeを直接訪ねます。カウンセラー、マスター、スタッフが在室。
※個別相談が必要な場合は、KOSEN Cafe以外に17:00～18:30の間、学生相談室も利用できます。
- 相談員に電話した上で、相談員の研究室を訪ねることもできます。

学 生 相 談 室

月・火・水・木・金

相談員

15:30 - 17:00

- ・ 専門医 月1回第一火曜日に来校。
- ・ カウンセラー 毎週木曜日に来校。

KOSEN Cafe

月・火・水・木

カウンセラー・マスター・スタッフ

15:30 - 18:30

射水キャンパス

□ 相談内容

- 学業・進路に関する相談
- 学校生活に関する相談
（友人関係、クラブなど）
- 精神衛生に関する相談
- その他の相談
（個人的な問題など）

□ 相談室のスタッフ

学生相談室員2名と看護師1名および2名のカウンセラー（臨床心理士）によって構成されています。テレビ会議システムによる精神科医のカウンセリングを受けることもできます。

□ 相談室の場所と開室時間

学生相談室は保健室のとなりにあります。また、学生相談室員の各研究室でも、随時相談を受け付けています。

学 生 相 談 室

(月), 火, 金

学生相談室員

16:10 - 17:00

水, 木

カウンセラー

13:30 - 17:30

保 健 室

月 - 金

看護師

8:30 - 17:00



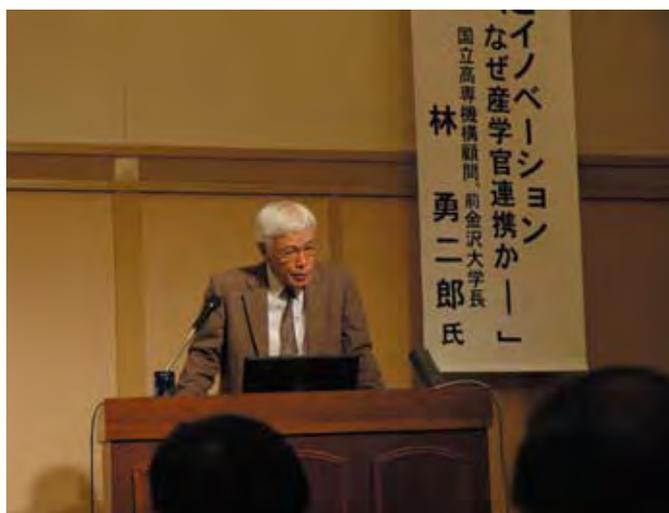
学生相談室

8 地域社会との連携

■技術振興会

技術振興会は、本校の教育・研究活動の支援及び地域産業界との円滑な連携・交流を深めることを目的として、平成17年10月に設立されました。現在、会員は企業会員121社、個人会員5名です。

富山県のさまざまな業種の企業と教育・研究機関である本校で構成され、産学連携、異業種間交流を通して、実践的な人材育成、知的財産資源の創造につながる技術革新、地域経済の活性化を目指して、客員教授の任命（会員企業から客員教授としての本校学生の教育・研究の支援）、人材育成協働事業の実施（フレッシュエンジニア育成支援事業）、T2サロンの実施（会員企業と本校教職員との交流の場）、T2マガジンの発行（会員企業と本校教職員の産学連携広報誌の発行）等の事業を行っています。



国立高等専門学校機構理事長（当時顧問） 林 勇二郎氏の講演

公開講座

〔本郷キャンパス〕

年度	事業名	期間	受講対象者	募集人員
21年度	交流分析入門講座	4/11(土)～12(日)	社会人	15
	LEGOでロボットを作ろう	8/3(月)	中学生	各回20
		8/4(火)		
	技のしくみと力学	8/16(日)～18(火)	中学生	40
	中学生のための環境講座 一物の燃焼と環境汚染についてー	8/4(火)	中学2・3年生	各回20
		8/5(水)		
	ポーケンシュタイン染色と繊維の種類	7/31(金)	中学生	20
	LEGOで相撲ロボットを作ろう	7/30(木)	小学校4～6年生	各回20
		7/31(金)		
	ふしぎな？染色工房	7/30(木)	小学校5・6年生	20
ミニ科学者になってみよう！	7/29(水)	小学生4～6年生(保護者同伴)	20組	
化学であそぼう	8/5(水) 午前	幼稚園等年長児～小学校3年生 (保護者同伴)	各回15組	
	8/5(水) 午後			

〔射水キャンパス〕

年度	事業名	期間	受講対象者	募集人員
21年度	海洋通信体験塾(総務省北陸総合通信局共催事業)	6/4(木)	般若中学校	
	コンピューターを組み立てよう	7/24(金)	中学生	12
	「若潮丸」の航海&海洋調査体験講座	7/24(金)	小・中学生及び保護者	40
	カッター体験講座	7/24(金)	小・中学生及び保護者	30
	はじめての電子工作	7/29(水)	中学生	10
	国語の教科書を読みなおす ～「走れメロス」は盗作か？～	7/29(水)	中学生	15
	自分の声を目で見よう	7/30(木)	中学生	10
	Let's speak English at Shosen (商船で英会話をしましょう)	7/30(木)	中学生	20
	モーターボート体験講座	7/29(水)	中学生	各回20
		7/30(木)		
	異文化について学ぼう	7/29(水)	中学生	各回20
		7/30(木)		
		7/31(金)		
	ネットワークで遠隔操作しよう	7/31(金)	中学生	10
	English at Shosen(商船で英会話)	7/31(金)	中学生	15
	エンジン学習講座	7/31(金)	中学生	20
	若潮丸による富山湾のクルージングと海洋調査	7/31(金)	小・中学生及び保護者	50
	チャレンジ&チェンジ！ 真夏のアドベンチャー2009 (国立立山青少年自然の家共催事業)	8/5(水)	小学5年生～中学3年生	30

9 研究活動

■ 科研費等採択状況

□ 文部科学省科学研究費補助金

種 目	年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
特定領域研究	件 数	1	0	0	0	0
	金 額	3,800	0	0	0	0
新学術領域研究	件 数	0	0	0	0	1
	金 額	0	0	0	0	10,010
基盤研究(A)	件 数	1	0	0	0	0
	金 額	5,850	0	0	0	0
基盤研究(B)	件 数	2	1	1	1	1
	金 額	5,600	4,300	4,600	9,620	3,380
基盤研究(C)	件 数	9	11	14	14	13
	金 額	16,200	13,800	18,100	25,870	17,420
萌芽研究	件 数	0	1	2	1	0
	金 額	0	1,200	1,400	1,400	0
若手研究(B)	件 数	8	8	5	2	3
	金 額	9,400	10,000	3,400	2,600	3,250
奨励研究	件 数	1	5	2	1	0
	金 額	750	2,960	1,510	1,000	0
合 計	件 数	22	26	24	19	18
	金 額	41,600	32,260	29,010	40,490	34,060

金額単位：千円 間接経費含む

□ 環境省科学研究費補助金

種 目	年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
廃棄物処理等 科学研究費補助金	件 数	1	1	1	0	1
	金 額	11,507	6,985	6,004	0	18,720

金額単位：千円 間接経費含む

□ 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

種 目	年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
産業技術研究 助成事業費助成金	件 数	1	1	1	0	0
	金 額	35,100	9,505	7,800	0	0

金額単位：千円 間接経費含む

■ 共同研究状況

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件 数	10	12	25	27	28
金 額	14,943	12,446	10,015	10,485	11,052

金額単位：千円

■ 受託研究研究状況

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件 数	3	4	5	9	8
金 額	2,135	3,251	7,280	29,310	21,999

金額単位：千円 間接経費含む

■ 寄附金研究状況

年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件 数	38	32	32	32	40
金 額	20,338	19,420	20,879	18,372	23,580

金額単位：千円

10 国際交流活動

■ 国際学術交流協定校

□ 中国・東北大学、韓国・慶熙大学との交流

本校は、東北大学（中国遼寧省瀋陽市）及び慶熙大学環境応用化学部（韓国水原市）と国際学術交流協定を、それぞれ平成15年12月1日及び平成18年2月9日に締結しました。中国・東北大学は、2003年に創立80周年を迎えた、中国ではトップクラスの実力を有する大学であり、国家重点大学（中国政府が重点的学術拠点として認定した大学）の一つです。韓国・慶熙大学は、1949年創立で、学生数は23,000人以上を有する韓国ではトップクラスの総合大学です。

□ エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム

「エコテクノロジーに関するアジア国際シンポジウム」は、富山工業高等専門学校創立30周年記念事業の一環として、1994年10月3日に第1回シンポジウムを本校主催で開催したことに端を発しています。第12回シンポジウムは、2005年8月に中国・東北大学キャンパスを会場として、さらに第14回シンポジウムは、2007年10月に韓国・慶熙大学キャンパスを会場として開催しました。日本、韓国、中国を始めとしたアジア諸国からも100名以上の参加を得て、活発な研究発表が行われました。本校専攻科生も、英語による発表やディスカッションを行い、高い評価を受けました。



東北大学での歓迎横断幕 (2006年10月)



第14回シンポジウムでのポスターセッション



米田政明校長(左)と宋基国慶熙大学長(右) (2007年2月)



第12回シンポジウムでの本校学生による発表の様子

■海外留学プログラム

学生の異文化体験と英語力の向上を目的として、平成18年より3種類の海外留学プログラムが開始されました。留学プログラムの開設に先立ち、平成17年に留学相手校のカナダにあるノースアイランド大学及びビクトリア大学英語センターと、また、平成18年にはマラスピナ高校とそれぞれ留学に関する協定の締結を行いました。さらに平成19年にはオーストラリアのボンド大学との協定も結びました。

□1ヶ月留学プログラム

このプログラムは主に専攻科生を対象に、オーストラリア東海岸のゴールド・コースト近くにあるボンド大学で1ヶ月間の英語研修を行います。内容はホームステイを通して、異文化体験と英語力の向上をめざします。

□半年留学プログラム

このプログラムは本科の国際流通学科の4年生を対象に、カナダ西海岸のビクトリア市にあるビクトリア大学英語センターで約5ヶ月の異文化体験と英語研修を行います。この半年プログラムは平成18年4月にスタートし、その年には国際流通学科4年の3名、平成19年度には同学科8名、平成20年度には3名、平成21年度にも3名が参加しました。

□1年留学プログラム

平成18年10月より新たにカナダ西海岸のバンクーバー島にあるバンクーバー島大学マラスピナ高校との間に留学に関する協定を結び、1年間留学プログラムを開設し、昨年は国際流通学科3年生が2名参加しました。今年はその第二回であり、国際流通学科3年生3名が参加します。



ビクトリア大学イングリッシュ・ランゲージ・センター



ノースアイランドカレッジ

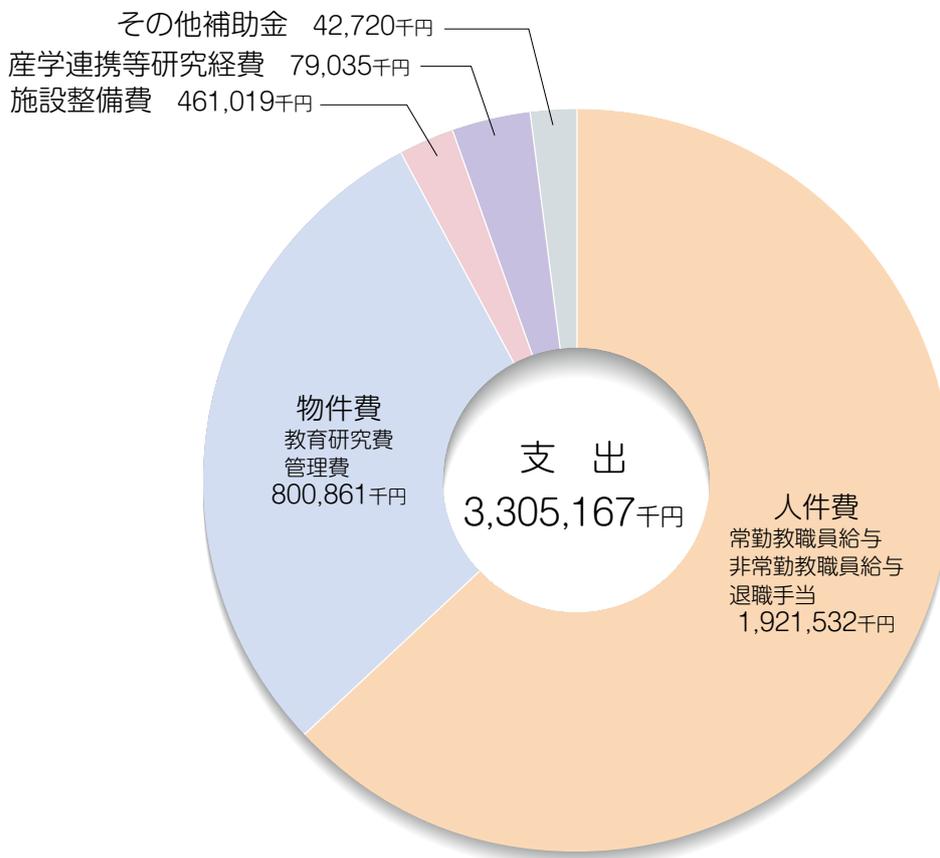
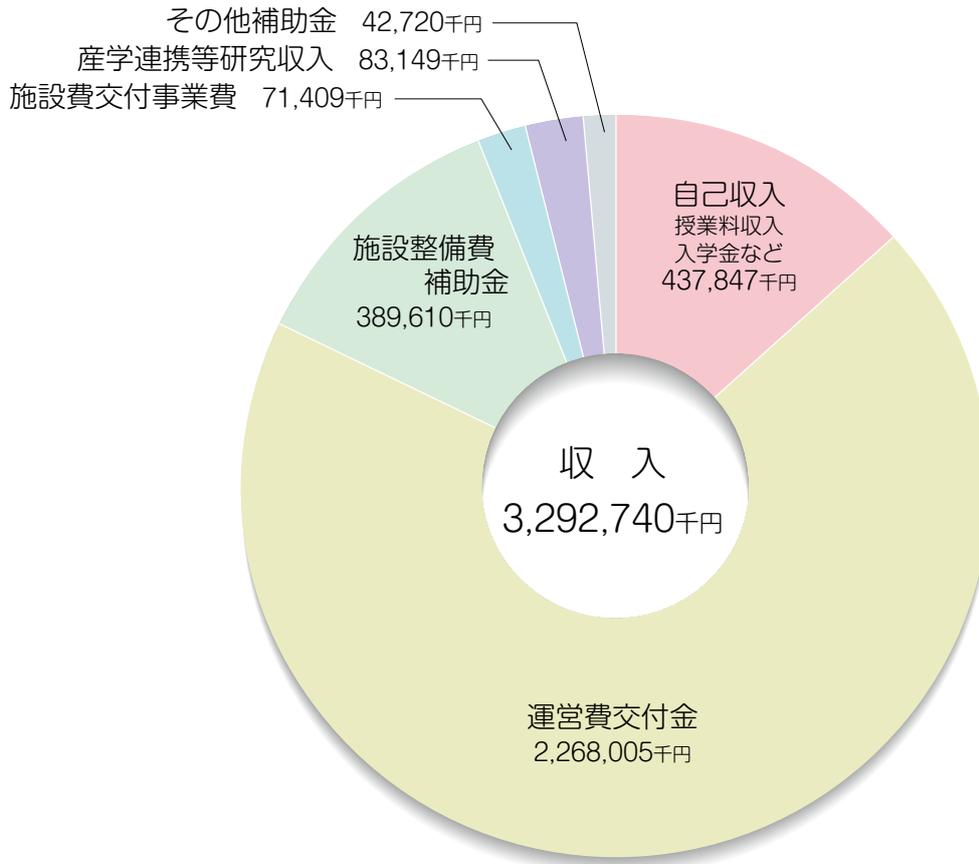


ボンド大学英語センター

11 財務状況

■平成20年度予算

〔本郷キャンパス・射水キャンパス合算〕



※物件費には、平成19年度運営費交付金繰越額 (16,521千円) を含む

施設

[本郷キャンパス]

区分		団地名	本郷団地	下堀団地	旭団地	計
土地	校舎敷地		55,472			55,472
	屋外運動場敷地		36,561			36,561
	寄宿舎敷地		12,535			12,535
	職員宿舎敷地		2,863	596	365	3,824
	合計		107,431	596	365	108,392

(単位：㎡)

区分		団地名	本郷団地	下堀団地	旭団地	計
建物	校舎		14,022			14,022
	体育館		3,674			3,674
	寄宿舎		4,493			4,493
	図書館		1,585			1,585
	福利施設		1,225			1,225
	管理部		1,535			1,535
	その他		1,023			1,023
	設備室		293			293
	職員宿舎(戸数)		789(12)	221(3)	105(1)	1,115(16)
合計		28,639	221	105	28,965	

(単位：㎡)

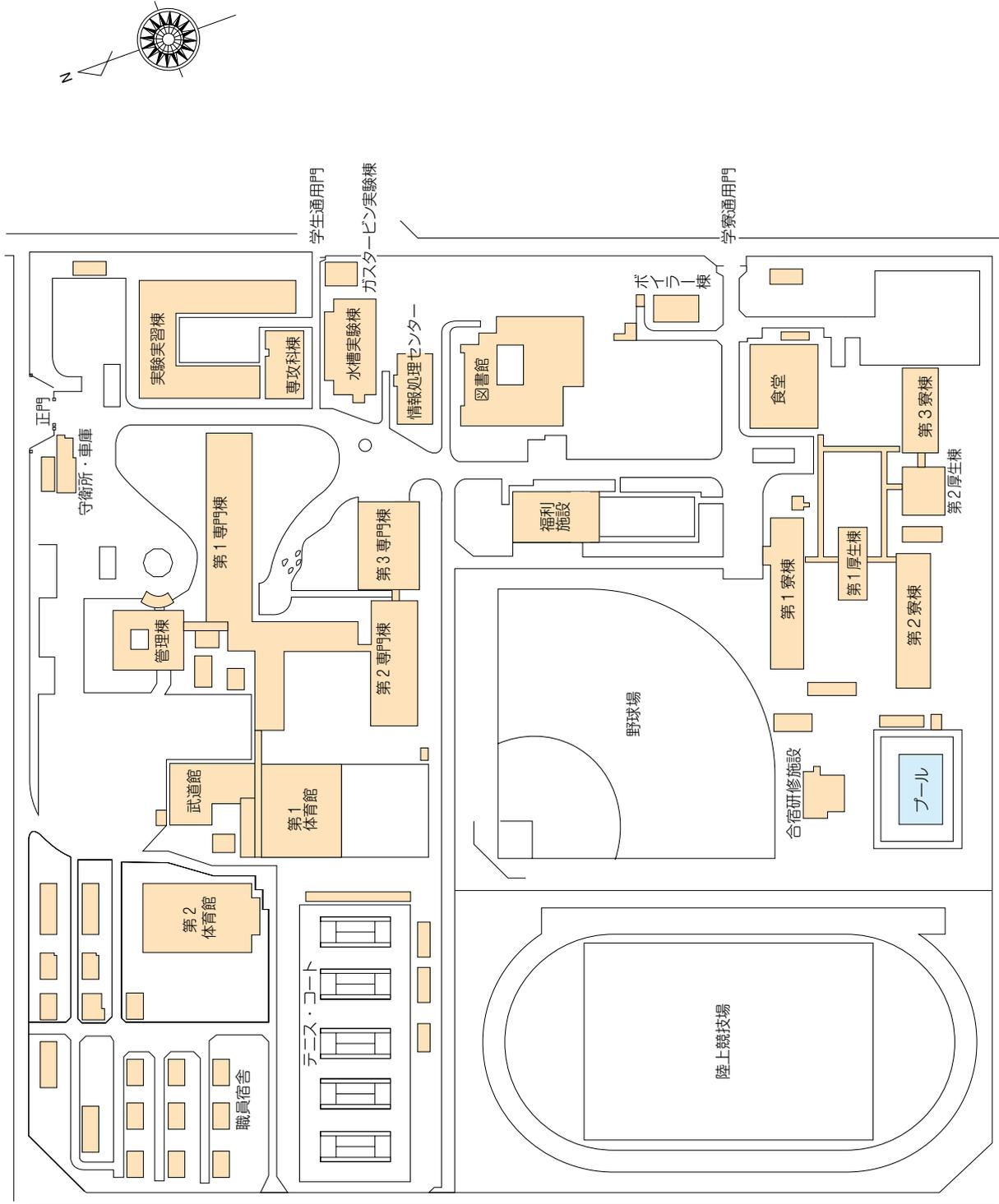
[射水キャンパス]

区分		団地名	海老江練合団地	堀岡明神新団地	計
土地	校舎敷地		45,336		45,336
	屋外運動場敷地		41,703		41,703
	寄宿舎敷地		15,808		15,808
	実験実習地			4,201	4,201
	職員宿舎敷地		6,962		6,962
	合計		109,809	4,201	114,010

(単位：㎡)

区分		団地名	海老江練合団地	堀岡明神新団地	計
建物	校舎		14,174	1,421	15,595
	体育館		3,031		3,031
	寄宿舎		7,035		7,035
	図書館		1,626		1,626
	福利施設		1,347		1,347
	管理部		1,615		1,615
	その他		1,064		1,064
	設備室		333		333
	職員宿舎(戸数)		1,127(18)		1,127(18)
	合計		31,352	1,421	32,773

(単位：㎡)



12 現行学科・専攻科紹介

■ 本郷キャンパス

一般科目

一般科目では、次の三つのねらいから教育に取り組んでいます。

一つ目のねらいは、豊かな教養と健康な体を持った健全な人間形成であり、国語、歴史、地理、芸術、体育などの科目が指導されています。

二つ目のねらいは、外国やその文化を理解するとともに、将来国際社会で活躍できる素養を養うことであり、英語やドイツ語が教授科目に編成されています。

三つ目は、工学を学ぶための基礎として、数学、物理学、化学、生物学などの科目が教授されています。

各科目とも、5年間の一貫教育のなかで、専門科目との関連や学生の発達段階に応じて、基礎学力の向上に工夫努力しています。



コンピュータを利用した英語の授業



授業風景(国語)

機械工学科

機械工学科における「人材育成に関する目的・その他の教育上の目的」

- (1) 継続的な社会を担うものづくり、生産技術の基盤となる機械工学及び情報処理技術の知識を総合的に有し、技術開発を行うことのできる技術者の育成
- (2) 「機械とシステム」、「設計と生産」、「ダイナミックス」、「エネルギー」及び「情報と計測・制御」に関する専門知識並びに実験及び卒業研究等を計画・遂行し、それを工学的に考察する基礎能力の育成
- (3) 基礎からシステム構成までを通した総合的な知識・技術を有し、それらを問題解決に応用・実践できる能力の育成



振動試験装置



引張試験装置

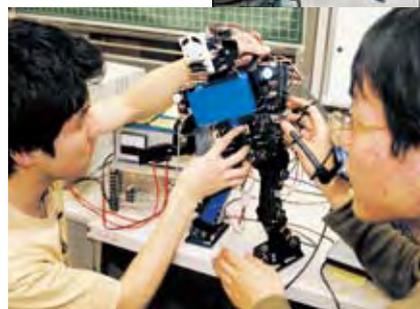
電気工学科

電気工学科における「人材育成に関する目的・その他の教育上の目的」

- (1) 電気・電子・情報の基本を身につけた電気技術者の育成
- (2) 数学・物理学、電気基礎理論及び情報技術の習得による基礎技術の育成
- (3) 電力、電子、情報通信及び計測制御の技術分野の専門知識並びに応用技術の習得による専門能力の育成



電気実験Ⅱ



卒業研究

物質工学科

物質工学科における「人材育成に関する目的・その他の教育上の目的」

- (1) 化学及び生物の力を利用して新しい物質を創り出す科学技術者の育成
- (2) 実験を中心とした無機・分析化学、物理化学、有機化学、化学工学及び生物化学の基礎能力の育成
- (3) 物質コースは、先端的な化学製品の性質とその製造技術、生物コースは、バイオテクノロジーの理論と技術を学ぶことによる、地球環境に配慮した問題解決能力の育成



分析化学実験



無機化学実験



走査型電子顕微鏡



万能試験機

専攻科

機械・電気システム工学専攻

機械工学科・電気工学科で修得した基礎学力をベースとして、それらを高度化するのみならず、解析力を高めるための応用解析学やシミュレーション工学演習、機械・電気エネルギーシステム設計に必要な計測・制御、学際領域であるロボット工学演習等を行います。また、機械・電気システム、メカトロニクス等の分野を含む教育研究体系を整え、開発能力を有した創造的技術者の育成を目標として機械・電気システム工学に関する教育研究を行います。

機能材料工学専攻

物質工学科・環境材料工学科で修得した基礎学力をベースとして、それらを複合化するのみならず、基礎的解析力を高めるための物質構造論、新素材及び機能性材料の開発に必要な材料プロセス工学、材料機能学等の講義を行います。また、学際領域である材料反応工学、機能性高分子材料等の分野を含む教育研究体系を整え、開発能力を有した創造的技術者の育成を目標として機能材料工学に関する教育研究を行います。

環境材料工学科

環境材料工学科における「人材育成に関する目的・その他の教育上の目的」

- (1) 環境と調和した材料工学（エコマテリアル的な材料工学）に携わる技術者の育成
- (2) 材料工学に関する基礎能力並びに材料加工及び物性に関する知識を有した技術者の育成
- (3) 金属材料、無機材料、有機材料に関する性質及び加工技術の習得並びにエコマテリアルに関する実践的技術力の育成

射水キャンパス

教養学科

教養学科では、高校に準じた幅広い教養科目を設け、バランスのとれた人格形成を目指すとともに、専門科目に関連した科目を多く設け基礎学力の充実を図ることを目標にしています。理工系の学科である商船学科・電子制御工学科・情報工学科、および文科系の学科である国際流通学科など、分野の異なった学科を設けているため、教養学科としてそれぞれに応じたカリキュラムの編成を行っています。

商船学科
電子制御工学科
情報工学科
の特徴

■低学年で教養学科の大半の授業を設けています。

■数学・物理・化学などの基礎科目を多く設けています。

商船学科

海と陸に活躍できるスペシャリストの育成

商船学科は100年を超える船舶職員育成の歴史を有し、海運界に幾多の優秀な人材を輩出してきました。

本学科は、航海コースと機関コースの2コースから成る複合学科です。

航海コースは、船舶職員（船長、航海士）の育成、さらに海運や海事関連産業の各分野において、総合的で管理的な任務が遂行できる人材の育成を目指しています。教育の現場を海と船に求めるところに最大の特色があります。

機関コースは、船舶職員（機関長、機関士）の育成、さらに機械工学の諸知識および電気、コンピュータ、自動制御など幅広い専門知識をもったシステムエンジニアの育成を目指しています。



練習船「若潮丸」と航海訓練所練習船「日本丸」



洋上救命講習

電子制御工学科

創造的メカトロニクス技術者の育成

近年めざましいコンピュータや電子技術の発達にともない、産業用ロボットを用いた自動化工場を始めとし、電力、鉄道、インテリジェントビル等、大きささま機械・機器から家電製品に至るまで、あらゆるところでコンピュータによって制御された電子制御装置が必要な時代になってきています。こうした幅広い業種での「ものづくり」の基礎となるのは、電気・電子、機械・材料、コンピュータ・制御の3つの分野です。

電子制御工学科のカリキュラムは、社会の要請するものづくりに対応できる実践的メカトロニクス技術者の育成を目的として、電気・電子、機械・材料、コンピュータ・制御の3つの分野の基礎を修得すると同時に、それらを有機的に活用するための総合的な演習を取り入れた編成となっています。



電子制御工学実験(2年) (コンピュータ制御車両模型のタイムレース)



電子制御工学実験(3年) (デジタルオシロスコープによる波形観測実験)



人の腕のようなロボットアームの製作

情報工学科

情報通信に活躍できるコンピューター技術者の育成

本学科では、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク三位一体の総合的なシステム構築能力を有し、幅広い応用能力と創造性を身につけた技術者の育成を目標としています。カリキュラムの特徴は、講義と共に実験による確認や作品製作といった「ものづくり」が重視されていることです。具体的には、身近な題材を取り入れた課題、自由な発想で取り組む課題、複数科目が連携した総合課題の「ものづくり」教育を実施しています。

また、各種資格試験にも積極的に挑戦して実力を蓄えることを勧めています。特に情報処理技術者、電気通信工事担任者、電気通信主任技術者の資格取得を奨励しています。



教育の構成概要

国際流通学科

国際社会で活躍できるビジネスパーソンの育成

高等専門学校にはじめて設置された文科系のユニークな学科であり、国際舞台で活躍できるビジネスパーソンの育成を目指しています。その特徴は、第一に流通経済についてのカリキュラムの中に、物流と交通・経営・法律に関する教科目と環日本海諸国の経済と文化を学ぶ教科目を入れたことです。第二は会話を重視した英語教育とロシア語・ハングル（韓国語）・中国語など環日本海諸国語の学習に力を入れていることであり、LL教室での授業の他、海外での異文化体験学習を行っています。第三には流通経済の知識を実践するためのコンピュータ教育を重視していることであり、海外の学校とコンピュータネットワークを利用しての会話能力の向上も考えています。

これらの多様な教育の総合的な効果をねらい、教員陣容の充実をはかっているとともに各語学を担当する外国人講師も多数採用しています。

また資格試験の指導を行っており、簿記検定、TOEIC、ロシア語・韓国語・中国語検定などの受験を奨励してい

ます。

卒業後の進路は物流・運輸、流通サービス、金融、公務員等の分野への就職のほか、経営、経済、国際関係等の諸学科を持つ大学への三年次編入なども可能になるようにカリキュラムの工夫をしています。



異文化実習(中国)



流通ゼミナール

専攻科

海事システム工学専攻

物流・輸送システム、プラントなどの海事システムを創生できる高度な技術者の育成

陸上と船舶を繋ぐ視点及び陸上の視点から深く体系的に学び、新たな物流・輸送システム、新たなプラント等の設計、開発などの海事関連分野におけるシステム創生を担える能力の育成を目指します。

陸上からの船舶運航の支援・管理システムの企画、設計と開発、さらに新たな航路や物流・輸送システムの開発等を実社会において実現し得る物流・輸送のコーディネーターとしての役割を果たし、船舶運航管理、機関管理に関する高度な知識・技術を有し、海事システムについて企画、立案、運用できる技術者・管理者を目指します。

制御情報システム工学専攻

電気電子工学、情報工学、各分野のニーズに呼応して新しい知能システムが創出できる技術者の育成

より専門性を高めた教育課程により、知識・技術の理論的な裏付け、システムの立案、設計、構築、評価を実践します。研究面においては、地域企業との共同研究開発及び学会発表を積極的に行います。

また、両専攻共通の教育課程により、プレゼンテーション能力、国際コミュニケーション能力、そして技術者としての豊かな人間性を育成します。これらを通して、電気電子工学、情報工学各分野のニーズに呼応した新しい知能システムの創出ができる技術者を育成します。

■学生の定員と現員

[本郷キャンパス]

平成21年5月1日現在

定員 学年	機械工学科 40名	電気工学科 40名	物質工学科 40名	環境材料 工学科 40名	機械・電気 システム 工学専攻 8名	機能材料 工学専攻 8名	合計
1 学 年	41(1)	40(3)	40(19)	40(17)			161(40)
2 学 年	38	41(1)	41(19)	40(10)			160(30)
3 学 年	43(3)	40(2)	45(19)	40(9)			168(33)
4 学 年	35(2)	39	39(11)	36(4)			149(17)
5 学 年	42	46(1)	42(11)	39(6)			169(18)
専攻科1学年					25(1)	13(3)	38(4)
専攻科2学年					17	16(7)	33(7)
合 計	199(6)	206(7)	207(79)	195(46)	42(1)	29(10)	878(149)

() : 女子学生内数

[射水キャンパス]

平成21年5月1日現在

定員 学年	商船学科 40名	電子制御 工学科 40名	情報工学科 40名	国際流通 学 科 40名	海事システム 工学専攻 4名	制御情報 システム 工学専攻 8名	合計
1 学 年	41(5)	37(5)	41(16)	46(42)			165(68)
2 学 年	42(5)	43(4)	43(14)	40(37)			168(60)
3 学 年	47(7)	46(2)	40(16)	41(35)			174(60)
4 学 年	37(7)	47(5)	46(15)	36(30)			166(57)
5 学 年	33(4)	33(2)	40(20)	33(29)			139(55)
実 習 生	38(5)						38(5)
専攻科1学年					3	7	10
専攻科2学年					3(1)	9(1)	12(2)
合 計	238(33)	206(18)	210(81)	196(173)	6(1)	16(1)	872(307)

() は、女子で内数

■出身地別在学生数

〔本郷キャンパス〕

平成21年5月1日現在

出身中学校	学 科	1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	専攻科1年	専攻科2年	合 計
富 山 県		157(40)	155(27)	164(32)	145(15)	161(18)	36(4)	32(7)	850(143)
石 川 県				1					1
岐 阜 県		4	3(2)	1	1(1)	3	2	1	15(3)
神 奈 川 県			1						1
滋 賀 県						1			1
ブ ラ ジ ル			1(1)						1(1)
マ レ ー シ ア				1(1)	1(1)	2			4(2)
イ ン ド						1			1
イ ン ド ネ シ ア						1			1
ベ ト ナ ム					1				1
ウ ガ ン ダ					1				1
モ ン ゴ ル				1					1
合 計		161(40)	160(30)	168(33)	149(17)	169(18)	38(4)	33(7)	878(149)

〔射水キャンパス〕

平成21年5月1日現在

出身中学校	学 科	1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	実 習 生	専攻科1年	専攻科2年	合 計
富 山 県		149(64)	145(53)	151(57)	152(53)	121(49)	16(3)	10	10(2)	754(281)
石 川 県		7(1)	12(3)	17(3)	8(3)	10(3)	13		2	69(13)
北 海 道			2		1					3
青 森 県							2			2
宮 城 県						2	1			3
秋 田 県							1(1)			1(1)
山 形 県		1								1
群 馬 県		1(1)								1(1)
埼 玉 県				1						1
千 葉 県		1(1)	1(1)							2(2)
東 京 都							1			1
神 奈 川 県					1					1
新 潟 県						1				1
福 井 県				2	1		1			4
長 野 県			3(1)	1	1					5(1)
岐 阜 県		4	3(2)	1		1				9(2)
愛 知 県						1(1)				1(1)
滋 賀 県		1(1)				1(1)	1(1)			3(3)
京 都 府							1			1
大 阪 府			1							1
奈 良 県		1								1
香 川 県			1							1
メ キ シ コ							1			1
マ レ ー シ ア					1(1)	1(1)				2(2)
モ ン ゴ ル				1						1
イ ン ド ネ シ ア						1				1
ラ オ ス					1					1
合 計		165(68)	168(60)	174(60)	166(57)	139(55)	38(5)	10	12(2)	872(307)

() は、女子で内数

卒業生の進路

進学

卒業後は4年制大学の3年次に編入学できます。
 これまで卒業生の約半数が、進学の道を選択しています。

就職

求人倍率が高いのが、富山高等専門学校の特徴です。
 産業界に高く評価され、県内外の企業や官公庁で活躍しています。

工学系

- 国立**
 富山工業高専専攻科
 富山商船高専専攻科
 秋田大学
 茨城大学
 大阪大学
 岡山大学
 金沢大学
 岐阜大学
 京都工芸繊維大学
 群馬大学
 埼玉大学
 静岡大学
 信州大学
 千葉大学
 筑波大学
 電気通信大学
 東京工業大学
 東京大学
 東京農工大学
 東北大学
 徳島大学
 富山大学
 豊橋技術科学大学
 長岡技術科学大学
 名古屋工業大学
 名古屋大学
 新潟大学
 広島大学
 福井大学
 北海道大学
 三重大学
 室蘭工業大学
 山口大学
 山梨大学
 横浜国立大学
 和歌山大学

公立

- 富山県立大学
 はこだて未来大学
 兵庫県立大学
 広島市立大学

私立

- 関西大学
 玉川大学
 同志社大学
 新潟工科大学
 立命館大学

人文社会系

- 国立**
 京都大学
 神戸大学
 東京外国語大学
 大阪外国語大学
 (現・大阪大学)
 お茶の水女子大学
 名古屋大学
 北海道大学
 金沢大学
 筑波大学
 埼玉大学
 奈良女子大学
 新潟大学
 信州大学
 富山大学
 滋賀大学
 三重大学

公立

- 高崎経済大学
 都留文科大学

私立

- 立命館大学
 関西学院大学
 東京女子大学
 津田塾大学
 学習院女子大学
 昭和女子大学
 京都産業大学

海外

- 上海大学(中国)
 ネバダカリフォルニア大学
 国際教育機構(米国)

商船系

- 国立**
 富山商船高専専攻科
 東京海洋大学
 神戸大学
 東京商船大学
 (現・東京海洋大学)
 神戸商船大学
 (現・神戸大学)
 東京水産大学
 (現・東京海洋大学)
 長岡技術科学大学
 豊橋技術科学大学
 金沢大学
 富山大学

工学系

- 製造**
 石崎産業
 出光興産
 SMK
 オリンパス
 花王
 京セラ
 キリンビール
 広貫堂
 サカキ産業
 スギノマシン
 セイコーエプソン
 ダイキン工業
 田中精密工業
 東レ
 富山村田製作所
 トヨタテクニカル
 ディベロップメント
 日医工
 日本ゼオン
 日本たばこ産業
 パイオニア
 ハウス食品
 パナソニック
 ファインネクス
 不二越
 リッチェル
 ローランド
 YKK

電力

- 関西電力
 中部電力
 東京電力
 日本原子力発電
 北陸電力

情報通信

- インテック
 NHK
 NTT西日本
 日本IBM
 北陸コンピュータサービス
 Yahoo JAPAN Corporation

官公庁

- 防衛省
 自衛隊
 法務省(刑務官)
 国立印刷局
 石川県庁

商船系

- 海運**
 日本郵船
 商船三井
 川崎汽船
 郵船クルーズ
 商船三井客船
 商船三井フェリー
 新日本フェリー
 新日本石油タンカー
 宇部興産海運
- 港湾運輸業**
 タイトーコーポレーション
 ユニエックス
 宇徳運輸
 日東物流

- 富山県警
 富山市消防本部
その他
 宇宙技術開発
 グローバルオーシャン
 ディベロップメント
 JAL航空機整備
 JR各社
 JA
 中部国際空港
 富山第一銀行
 日本郵政
 北陸銀行

人文社会系

- 製造**
 YKK
 SMK
 澁谷工業
 コマツNTC
 ナナオ
 富山村田製作所

物流

- 伏木海陸運送
 日東物流

銀行

- 北陸銀行
 北國銀行

ホテル・旅行

- HIS
 ウェスティンホテル
 立山黒部貫光

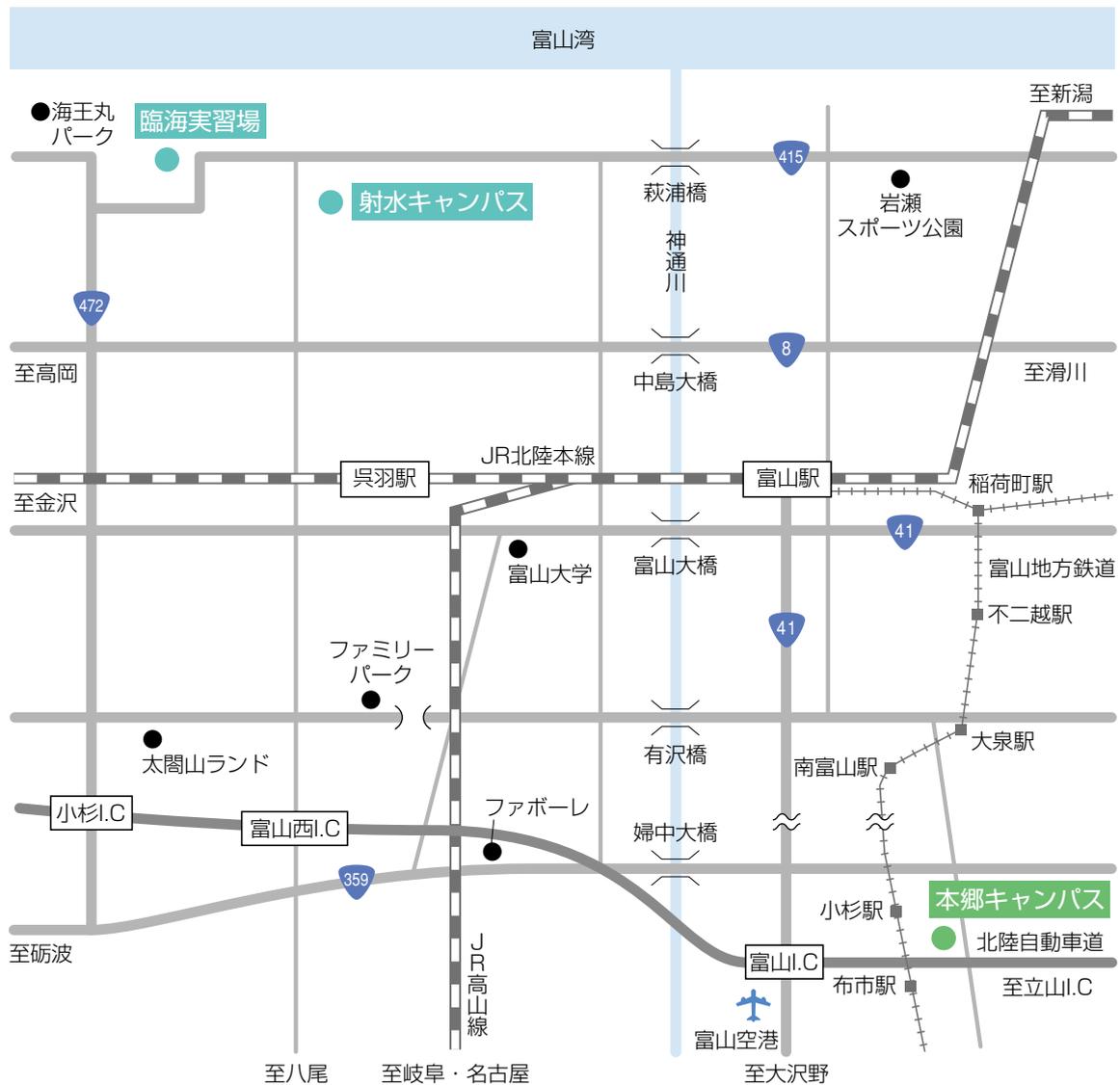
官公庁

- 外務省
 財務省(税関)
 防衛省
 国立国会図書館
 裁判所
 県庁・県警・市役所

過去5年間の主な実績

過去5年間の主な実績

■ アクセスマップ



本郷キャンパス

〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地
TEL:076-493-5402 FAX:076-492-3859

- バス/富山駅前からの場合、みずほ信託銀行前(2番乗り場)から「国立高専(朝菜町経由・下堀経由)」行きに乗車～約30分～国立高専【終点】下車、徒歩0分
- 電車/電鉄富山からの場合
「岩峯寺」行きに乗車～約14分～小杉駅下車、徒歩15分
岩峯寺駅からの場合
「電鉄富山」行きに乗車～約15分～布市駅下車、徒歩15分

射水キャンパス

〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2
TEL:0766-86-5100 FAX:0766-86-5130

- バス/富山駅前から「新港東口」行きに乗車～約30分～「練合」下車、徒歩2分
- 通学バス/JR東富山駅、富山駅、呉羽駅、小杉駅、高岡駅や新湊方面から通学バス(有料)を朝夕に運行
- コミュニティバス/射水市のコミュニティバスも利用可

<http://www.nc-toyama.ac.jp>